

肺の手術とはなにか

胸廓成形術をうける方々

胸廓成形術とは肋骨を切つて病巣をつぶす代表的なものです。手術は普通二回か三回に分けてやり、肋骨切除数は五本から八本ぐらいです。この手術による死亡率は非常に少く、織本病院の場合一八七例中零という成績です。手術時間は一時五分以内で早いときは十分で済むときもありません。さで痛いだらうと思ふ方もありますが併用しますから半身麻酔に局所麻酔を併用しますから心配するほどのことはありません。術後痛くては呼吸障害を起すので十分に麻酔を使います。この点出垂炎(盲腸炎)の手術後より楽なくらいです。

手術の効果については患者さん御自身で随分研究なさつておられることでしょうから何も申しませんが要するに決して二わがるようなものではないと断言します。この向も三十人ばかり手術後生れ変わったように元氣になつた人々と当病院長親筆会をやりましたが私達の力がびつくりするくらい皆元氣で手術による人生への再出発を喜んでおられました。

皆さんも前途の光明を見つめて手術をうけて下さい。

(当院副院長談)

身の廻り品には

何をもちてきたらいいか

入院、手術ときまれば一番先に何をもちていったらいいかが問題になります。オア一に心の準備もありません。仕事をきちつと整理すること必要でしょう。入院としてもちてきてもらいたい品物は

一 履具、二 胸帯(サラシニ米程度)、三 氷枕か

氷裏、四 便尿器、体温計、五 湯タンポ、

六 吸呑、七 油紙、八 痰壺、九 マスク

そのほか今まで身の廻りに使つていらつしやつた物など、食事は病院備付けの食器で出しますから持つて来なくても結構です。とくに病室や廊下での炊事はかたく禁じられておりますから、七輪など絶対に持つてこなないように願ひします。小型の火鉢を暖房用としてお持ちになることは差支へありません。その他、附添婦と頼む場合は附添婦のフトンが病院にありませぬから何とかが都合して入院当日一緒に持ち下さい。手術前には十分諸検査を受ける必要がありますから指定された予定日までに必ず入院下さい。

胸部疾患は永い斗病生活によつて始めて治癒するも静と栄養に注意して下さい。手術の前後はとくに安

入院・手術に要する

経費はどの位か？

健康保険・共済組合の組合員又はその家族、或は医療保護を受けている患者さんが当院に入院された場合、大体つきのような規準に従って色々な費用、立替金を負担してもらうこととなります。

入院料の計算

入院料は病室の種類によって三つに分れていきます。**健保・民生**できめられている入院料は一日百十円です。それより高い料金の病室に入った場合はこちらで部屋の差額を請求します。それから従って内支払い下さい。

病室	入院料	支払うべき差額
5号室	一〇〇円	不要
1・2・3号室	二〇〇円	九〇円
6・7・8号室	一五〇円	四〇円
9・10・11号室		

ペニシリンの補充

健保・民生の場合一回の手術に使うペニシリンの量は二〇万乃至三〇万単位と定められております。医師と相談してそれ以上使用しなければならぬ場合には必要なだけ患者さん自身で買ってきて病院に内渡し下さい。薬局で購入される場合ペニシリン一〇万単位で約四〇円です。

ストレプトマイシン

手術前後の状態によってストレプトマイシンを使用する場合があります。マイシンは当院にも配給があります。国立清瀬病院へ外未患者としていつても領けてもらえます。この場合患者さんは一本(グラム)につき、三三〇円の実費を支払わなければなりません。この費用は現在のところ**健保・民生**からは支払ってくられません。患者さん自身で内出しになることとなります。パスを使う場合も大体と同じです。

輸血料の立替目之

胸廓成形術を行う場合の輸血量は

オ一次手術に 一〇〇グラム

オ二次手術に 一〇〇グラム

合計二〇〇グラム

です。 他人の血を輸血してもらつた場合には一〇〇グラムにつき、その場で六〇〇円乃至六五〇円を支払わなければなりません。但しこの料金は「治療材料費請求書」によつて「健保や民生」に請求することができ、患者さんがそれまで一時立替えて支払うことになるわけです。

附添婦の費用

附添婦をつける場合は病院に依頼して下さい。

その場合附添さんに支払う一日の費用は

一人付き(一人で患者二人に附添う) 二八〇又は三六〇円

二人付き(一人で患者二人に附添う) 一八〇又は三〇〇円

三人付き(一人で患者五人に附添う) 一五〇又は二八四円

となつていますが、直接附添婦さんに支払う(但し右料金は食事料を含む)

健保・民生の方は「看護承認申請書」であとから

附添費が支払われますから、その費用は一時立替え

となるわけです。

当院に予算があるときには、この附添費の一部を立

替えられる場合もありますから、その時は事務と傳

相談下さい。

附添婦の布團

附添婦さんは原則として患者さんから布團を借りて附添うことになつておりますから入院の際、その介をお忘れなくお持ち参下さい。

食事

別紙の要領で異動をお持ちになれば病院で給食を致

します。 病院のガスをお湯をわかす程度以上には使われ

ていますから、お湯をわかす程度以上には使われ

ないで下さい。 使つた場合はあとからガス代を頂きに

上ります。

文 織本病院の歴史 文

現院長が大正九年、当時無医村であったこの
 比に外科医院を南業し、一般及び腹部外科の
 専門医として今日に致つたのでありまして
 本年一月には開設三十週年の祝賀会をやりま
 した。結核外科をやるようになったから
 まだ三年しかたちませんが、その向ベツト
 六床から三十床に増床し、本年一月外科呼吸
 器科病院に昇格して今日に至つたのでありま
 す。

☆ その陣容と設備 ☆

院長 織本 一雄

副院長 織本 正慶 (国立清瀬病院外科)

人工気胸及 福田 良男 (全右)

療養指導 東原 隼一 (全右)

神津 克己 (全右)

平面撮影用レントゲン装置 壺基

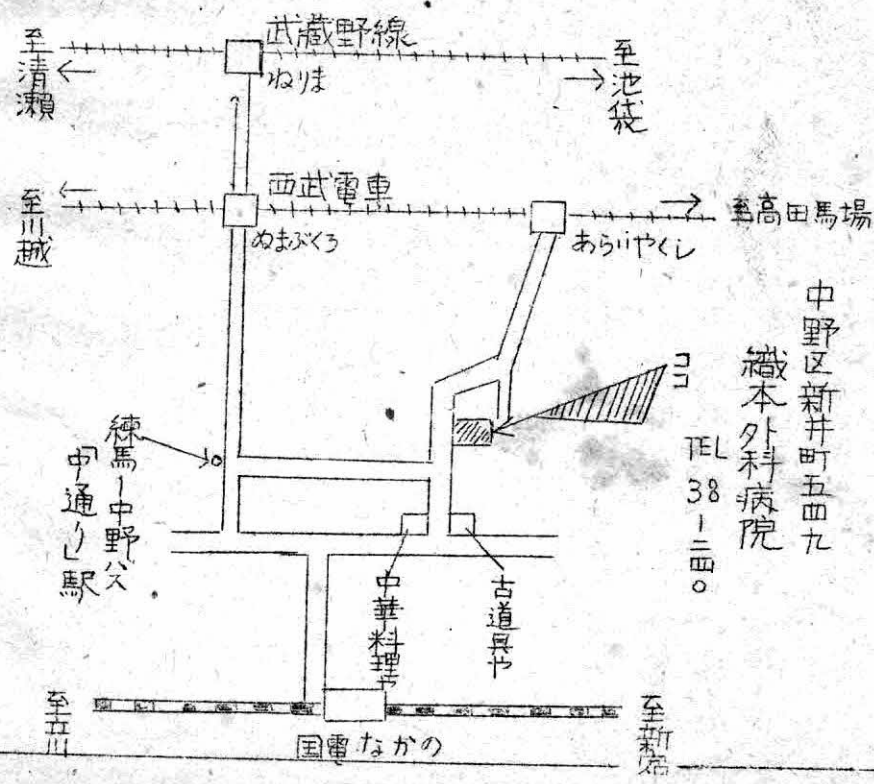
断層撮影用レントゲン装置 壺基

移動撮影用レントゲン装置 壺基

その他 培養器、気管支鏡検査、瘰癧分取

検査法等による 諸検査設備 壺式

病院への略図



中野区新井町五四九
 織本外科病院
 TEL 381二番。

中野駅から 五分
 バス中通りから 五分
 新井菜師から 七分

新路

発行責任者
中野区新井町549
織本外科病院
院長 尾尾信之

原稿募集

きこやかな病院ニエースに皆さん
の語を求めます。何でも結構です
から原稿をお送り下さい。

胃腸科を新設

開腹例はすでに二三五五名

過去三十年間胃腸外科としてやってきた織本病院は、今度、院長、副院長に加え、東京医科大学のレントゲン科に五ヶ年の研究を積まれた今村敏春先生を迎えて、特に胃腸のレントゲン診断に完璧を期することになりました。

すでに開腹前例は実に二、三、五、五、五人の多きに達していません。これは胃癌、胃潰瘍をはじめとして大腸癌、腸捻転、腸狭窄、虫棘突起炎、腹膜炎の總計で、今後この

蛍光板

の方面で活躍する意気込みであります。胃腸科の診察は、現在の呼吸器科診療室を併用して行なう予定で、すでに胃の透視、撮影について万端の準備がととのえられております。

◇…… 卸会議員の返取金が一人十七万円にまいったそうだが、二十六年度予算では総核対策費と名のつくものが七十五億円とある。
◇…… これは予算總支出額の驚くなかり一、一%で、二五〇

加配米がきます

「指定許可さる」

かねて待望の給食病院指定は三月三十一日附で当病院にも許可された。給食病院に指定されると患者一人当り一月約一合の主食と同等の砂糖の加配があるほか、味噌、醤油、油等の配給が万人の結核患者にわりふると、一人当り一年向三千元なりということになる。正夏とモモグラシーをモット

とすると議員諸公のこしらえる法律とは、ざつとこんなものである。
◇…… 戦争と貧困のおかけで「結核」とりつかれた人がいまままだデッド・クロスにつき当りそうになっている。危い哉、危い哉



在院患者数(定員三〇名)

病	結核	その他
院	月始 一二名	三名
月	月末 二〇名	五名
手術施行数		
脚筋成形術	一五名	
胃癌切除術	一名	
腸閉塞切除術	一名	
虫垂炎切除術	四名	
脱腸整腹手術	一名	
外来患者	四八七名	
一般患者	一三五名	
結核患者	九名	
入院待機患者		

新しい手術法

ゴム管一つが

恢復に決定的

腹膜炎の場合

急性の腹膜炎は殆んど虫垂炎(盲腸炎)が破裂して起るものです。今までの手術法では大てい虫垂を切りとった後に、太いゴム管を突つこんでウミを出すのですが、そうするとその排膿の穴は、ふさがるのに一ヶ月以上かかりますし、ひどいものになると六ヶ月も一ヶ年もかかります。あけくの果てに癒着を起して悪くすると後日腸捻転となります。これに対し、最近私の病院でやった例を紹介すると、開腹時に吸引ポンプで充分に膿を吸いとって、

お腹の中をきれいに掃除して細い導尿管のゴム管を入れるのです。そのゴム管を通じて、毎日十万単位のパニシリンをお腹の中に流し込みます。それは手術後下熱して硬が普通に出る様になるまで大体五日から七日位かかります。頃を見計ってゴム管を抜くと、元来細いものですからすぐ穴はふさがります。こうするとかーびを交換する様な痛みもなくお風呂も二週間たてば入れるという試です。

(副院長)

怖いのは最初だけ

成形手術の感想

五号室、文納夫人談

四方山

はな 就寝あつせん

一新卒業生諸君、ただいま本夜に於て小使一名募集しております

〇〇大学厚生課

苦 荷

最初はとて不安心でした。主人が手術台にのせられて背中(ヨリーチン)をぬらから見た時には目頭がジーンと熱くなつて思わぬ涙があふれてしまいました。

— ぞんなに、見つめたりすかしたりしないで頭蓋!

四月バカ

四月バカ

— わが党の議員は皆々、一切の悪事をハツカクした

道ちに地下にもぐれ!

ある夜の錯覚

自由党

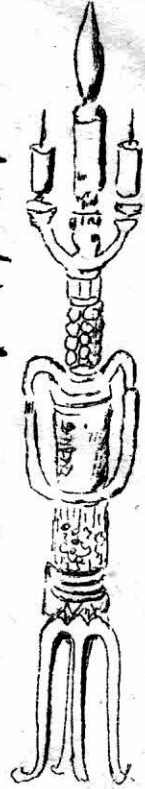
怖ろく— ヤヨッ、お前天然痘じゃないのか! 女房— ナニいつてんのさ。ニリヤアバタだよ。

告知板

⑩ こんとバス(バスチルノサルナル酸)の薬価料が民生でとれることになりました。マイシンは割当不足で外未患者には当分の間中止していただきます。

た。けれども一回目がすんだあとはすっかり安心しました。二回三回目の手術の時には何の不安心ありませんでした。これから手術をうける方に安心しておうけなさいと今は心からいうことができ

一生に一度の手術ですから怖いと思うのが当たり前ですが、このように全部の人が「受けてよかった」と思っています。身体をかたくしたり、必要以上に苦痛を訴えると、かえって手術がやりにくく、一板状態も悪化するものです。



療養所物語より

副院長 織本正慶

結核というこの宿命的な、もつとも悲惨な病から人間を救つてゆこうというところがいかにも困難で、いかに多くの問題を含んでいるかというところは私が国立療養所のK病院で取次ぐこの織本外科病院で日々感ずることである。即ち結核病等とか、結核外科という様な医学の領域だけではとても解決出来ない社会問題が、救限りなくあるのであつて二〇〇人近い結核の手術患者を出したこの病院も、今年こそは結核という社会問題にも真正面から取組んでゆこうと決意してゐる筈である。手術が出来ない患者は再生の希望に燃えているが手術もできない人は既に奈落の底である。手術を中心にしたこの差はあまりにも大きい。

而も私共今から語ろうとする事は、手術を許可されずして希望に満ちて入院を持つ間にあまりにも長い日数を費したために遂にシユーム

(病巣の悪化)を起して入院した時は既に何の処置も出来ず、そのまま自分の運命を呪つて亡くなつたK病院に於ける最も悲惨な少女の物語である。これはこの少女の体質が悪いといえは、それまでであるけれども、手術の適応者という喜ぶべき刻印を押されてから四ヶ月持たぬは手術をしてもらえなかつたという国立療養所の機構にも何かしら大きな欠陥を思ふのである。

X X X X X

私が才十六病棟の主治医になつた時に一番悲惨な印象を受けたのがこのIという患者さんだつた。十六病棟は軽症ゆゑにたが膈分重い人も沢山いた。そうして全部で四十五名の女子病棟であ

保健同人

4月号

入路を持つ人々ハ 足立 茂

タマ抜き成形 小野 勝

「安静のぬうち」を語る 秋原 茂一、岩崎 能前、久留 幸男

私はこうして再起した。《体験記》

保健会議

4月号

★ フロンベの癌劇 ☆
 11例の肺切除：膈にほらむられた犠牲者-----：
 ≪ 結核はなめられている ≫

『本号には“基礎麻痺について”当院副院長が執筆しております』

つた。私が初の回診をした時に「あなたはどういう経過をとつてきたのですかとレントゲンとフィルムを見ながら聞くと患者さん達は日頃の許えを細々と私に話したものである。中には小さな手帳のメモを読みあはる人もいた。

重症者は大抵個室にいた。西側の最初の個室をあけると順のこけた目の異様に光る様な感じを受ける女性が入った。それがIさんだった。入った瞬間に既に末期的なものを感じた。レントゲンととりあはると「絶望」とはつきり断定した。両側の肺は粉雪とホタテ雪が降りそそいでいる様だったから――
私達療養所の医者にとつ

ては絶望者は治療の対象にならなかつた。もしかしたら良くなるかも知れないという希望から上が、学術的な興味から去つても、社会的にも治療の対象となるものだった。だから絶望的な重症者はズトレフトメインもバスも使つて貰うことは出来なかつた。

□ 入院したとき

もう駄目でした……

私はレントゲン写真を見ながらその中からは死期の判定しか出て来ない事を再び感じた。

「先生!!」という声に私は土色をしている彼女の顔を見た。

「私は手術適応の患者として短期入院を許可されたん

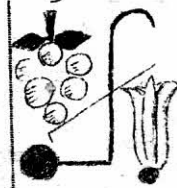
暮夜

赤みさえ 細くなつたゆびさきを
ひそかにみつめていた冬であつたが
ぬくぬりのこもつた夜の風に

です……それから四ヶ月
向入院を待ちました。その間にシユームを起して入院した時はもう手術は駄目でした。

Iさんは息切をこらえて「病院は可哀そうだからってマインをその時四十本使つてくれたんです。でもちつとも利かなかつたんです。……」
私は目をそらしてヤザキキに上り下りしている体温夜と咯血の赤の記号を見つめ

ふとひろけた私の手が
いまではほのかな血色をおびて
春の息吹きをとりゆとして
いる
こじま
としひろ



「先生!! 私はそうしてこ
んなになつたんです。もう
駄目でしょう……」
咳が出て……それでも
飯だけは食べなくちゃと思
つて無理に頑張ると、もう
吐気が来てしまつて……
私は苦しそくに許えるの
を目で制した。そうして御
飯の美味しくなる薬を処方
してあげることを約束して
部屋を出た。

冬がくるまで膀胱の痛みが

Iさんを苦しめた……

Iさんの病状は夏が過ぎると悪くなつていった。

秋の日は高く上るのを待って私は重症者を連れて静かな療養所の風情を散歩した。重症の人達は楽しそうに草をつんだり、私に結核外科の話を尋ねたりした。

そうしてその中で一番私が悪く感じたのは、彼女が私の積極的な外科的治療に最初はいささか尻ごみをしたけれども今ではその中から明るい希望を感じている事を話してくれた事だ。

散歩から帰ると私はIさんを見舞った。そうして今散歩から帰ってきたという

彼女は久しぶりに明るく微笑して、美しいけれどお話しだけでも楽しいと言った。

そうして私はもう死ぬまごそんな思いは出来ないと云った。

××××

秋が深くなると同じにIさんの病気が悪化した。ある

時、私が部屋に入って行く時、顔をしかめて

「膀胱が痛くつて、こうやつて塵をふんはつていない」と膀胱が飛び出しそうなんです。



Iさんの尿中に結核菌が出ていることは私も知っていたが症状として膀胱結核の痛みがこんなに強く出てくるとは予期していなかった。

冬が来る迄膀胱の痛みが

対に益々出た。Iさんの部屋の前を通るとその咳がガングと私の耳に響いた。私は中に入る事も出来なかった。これは喉頭結核と気管枝潰瘍の咳だった。如何にも強く激しく息の根を止めない限り止りそうになかった。

やつぱり生きよう
という意志を

しばらくすると今度は尿が出なくなつた。そうして手△管で導尿しながら尿を出した。私は何かしら末期的な症候群がIさんを襲つてきたことを感じた。

Iさんも苦しがつたのであるが外科医でありながら何事もし得なかつた私も随分残念だったし苦しがつた。

慰めたりカづけたり餽飯を無理に食べなさいと言つたり、そんな事しか出来ない外科医を私ははじめて経験した訳である。

私が部屋を見舞う度に「こ人は「すみません、お手数かけまして」と必ず言つた。そうかと思うと「先生！、私は四ヶ月も待たないで手術すれば決してこんなにならなかつたでしょう？」私「はもう駄目ですわ……私「は初めからそういう運命だつたんだわ、二人なに一生懸命餽飯を喰べようとしたって無駄ね……先生！ 解剖して下さい、早く」と興奮しながらじやべり続けた。私はまどゆに受け答えが出来なかつた。カづけける華があまりにも慈善的に思え

たし、何か言い出すと彼女と同じ様にとりとめがなかつた。

私は「Iさんがいつもの様に自分の運命を呪うのに対して聞きごらくで

「そんなにあなたは自分の運命を呪つてはいけません、私はあなたを慰めたつて仕方がないけれど、やはり生きようという意志を、これはまあ肉体的なもの以外でも、持ち続けていなければ何かしら悪い気がするんだけれど」

随分むづかしく自分でもはつきり解らなかつたが私は「そう云つた。Iさんも解らなかつたと思うが、それでも彼女は解かになつて二度と私に解剖してくれなるといふなかつた。

少量の麻薬が

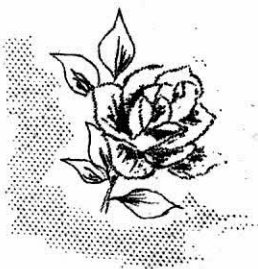
Iさんの死顔を……

十二月の半ばを過ぎると寒さが強くなつてきた。その頃からIさんに強い呼吸困難がやつてきた。それと同じに頭も少し狂つてきたようだった。依然として咳止め薬と鎮静剤が授与され続けていた。十二月の廿三日はその日の夜からIさんの呼吸困難はひどくなつた。私は最後を感じたが喪心剤と酸素吸入を連続的に使つた。夜半の三時に私は起された。Iさんは胸をかきむしつて苦しがつていた。

私はもう「此匠だと思つた。

そうして少量の麻薬を使つた。かほそくなつた体には麻薬が良く利いた。

Iさんは向心なく静かになつて朝の七時迄寝た。そうして七時半に死んだ。その日は寒い朝だった。私がかけた時はすでに幸切れていたが、少量の麻薬がIさんの死顔をどれだけ安らかにしたかと、そうしてそれだけが私の彼女に対する最後のしかも唯一の治療だつたと思つた。



日曜診療はじまる

レントゲンの結果もその場で解り、その場で正しい診断が下さいます。

当院で毎週行われてゐる日曜無料診療及健康相談は、結核と慢性胃腸病を対象としたもので、今年になつてから、意圖的に計画されたのでした。さきやかな院内掲示だけであつたにも拘らず、回を重ねる毎に増してゆく患者數に、私たちは嬉しい悲慮を感ずております。X線写真撮影の方は、副院長から病状の経過、経過の説明を受け、各人の療養方針が次まれます。X線写真のない方の診断にはX線透視ないしは直ぐ撮影及び現像が行われ、赤沈価、病歴

三月一日	一〇名
三月二日	一五名
三月三日	一八名
三月四日	一七名
三月五日	一七名

家族感染とは

—Kさんの場合

結核をなくすために一番考へられるのは家族感染の問題です。Kさんけ現在当病院に入院中の患者さんで、成形手術を終つてもう復院を待つは

はかりですが、この人の新派をさぐつてみますとおきらかに奥さんから感染してゐます。その奥さんが罹病したのはこれまた家族感染で奥さんのお兄さんと妹さんが結核でなくなつてゐます。奥さんの弟さんゆついで先達で診察の結果結核の診断を下されました。現在Kさんの三人の子供のうち二人が肺浸潤という診断をう

副院長の巻



一本筆啓上
茲本病院の御留司で、ある彼は、国立療養所海濱病院の医師を兼ねて連日連夜、結核とたたかつてゐる。朝早く、病院中をわめきながら「遅刻だ遅刻だ」とキョセに向つてはく達してゆく聲はまさにス

けてゐます。幼児結核の恐しさはいうまでもありません。このような例は決して珍らしい例ではありませぬ。皆さんも御自分の身のまわりをふり返つてみて下さい。そして家族感染の不幸な犠牲にならないように家族の人たちにツベルクリン検査をしてその結果B.C.G.をうつとが、写真をとつて早く処置をすとかすぐにとりかかつて下さい。

ポイントマンである。若キテクニシアンとして社会的にも認められ、とくに女性の患者から崇拜されてゐるらしいのは、どういふ余蘊があるのかしら。これから胃腸の方もはりはりやりたいとのこと。人間、病をこもつ向は幸なりである。

思ったよりお元気でした

むづかしい真向女め

春が訪れてきました。仕事をもっている私たちでさえ、都區におさまっているのは困難ですが自宅療養者の皆様はなおさら春の野に飛び出してゆきたい気もちひなされることでしょう。

私をはじめに家庭訪問したKさんは思ったより元気でした。安静の点はだいたいの良いと思いましたが惜しいことに日光、消毒、衛生等に対して知識のかけているところか、けられませんでした。とくに幼児と一緒に寝ていることは注意を要すると思われました。散歩などの程度したらよいのかとか、幼児のツベルリン反応をど

うしたらしてからえるかとか、ハシカの手防及処置などについて真向をうけました。が、どんな真向にもこたえられないような知識をやしなひ、ますます良い訪問をつづけたらと思ひます。

(徳野 静枝)

急募!!

◇……当病院の看護婦一名
来月中旬、かしくの典をあげますので、至急補充しなけれはなりません。明らかな近代的感觉をもつた看護婦さんを探して下さい。
×切四月十五日

(事務長)

患者だより

○……昨日はわざわざ家庭訪問をいただきありがとうございます。ひさびさで朗らかな看護婦さんの姿を忘れてうれしく思いました。ほんとうにありがとうございます。新啓発刊おめでとがとう。文面に政治色のないのが好感もてました。「告知板」、「病院通信」、「患者だより」等々我々の知りたひことばかりです。でき川は栄養の点について知識の不十分な我々のために季節を利用しての栄養料理の献立をのせてほしいと思ひます。それから医学用語の解説を一つづつでも良いからのせて下さい。

(中野区、川や静雄)

○……こんどはとんでもない失敗をしてしまい申し訳ありませんでした。前後まだ五ヶ月なのにアパートに住んでいる関係上、落着いておていられないのと、人の出入が多く、減つて問題が多いのでつい動きすぎたのが失敗の原因でした。折角先生に困難な手続をしていただいたのに、そしてその後、安静な状態にしてしまったわけが残念でなりません。一取日、神奈川の療養所へ入りました。

(横浜市、岡田昭二)

新 路

責任者 尾本 長
責任者 尾本 長
責任者 尾本 長

有料配布
本号より一部式目で配布する
ことにいたしました。いっしょ
よろしくおねがいします。

もつと患者の声を。

退院患者から要望

新路を手にして、いつも患者の元氣なきが少ないと感じるのは私一人ではないでしょう。もつと新路をとおして、お互の近況を交換しよう。

入院中は不自由な身体もいとわず、枕邊をなぐさめたり、見舞つたり、或は励ましあつてきた浅からぬ縁、一人の落伍者も出してはいけない。

今後中心のスクラムをガッチリ組んで、ともに、の道を切りひらいて申そう。一茶の句に

かたつむりぞろ／＼ト富士の山なにか私達に教えているものがあふようです。その日ごの日のつとめをおこなたらす、焦らず営々としての一歩マダが、やがて富士山をも征服することおぼえるのでしよう。

ていない、否、克服して来たことを後世の人に実証する義務があると思ふのです。

では御挨拶よう。新装成つた織本病院の自科第一期はよ、三月四月退院者よ、名乗りをあげ給え。(北区下七味 小林 逸)

休けい
○…結核患者に接してしばらくすると、どんな医者でも「医者の限界」というものを感じるらしい。患者は民生保護のとより方から、「医ヲ貴は、民生保護の世話から離婚の相談まで主治医に打明けられるのである。○…患者が一人々々大きな社会問題と背負つてゐることは、よくわかるけれど、一々聞いていたんでは一



先遣場から、まず

先遣場から、まず

先遣隊一本で今まで不自由して来た洗濯場が、この間附添婦さんの懇談会で増設してもらおう、ということになり、病院も金一百万ナリを投じて去園脇に一坪の洗濯場をつくることになりました。六月中旬から使える予定です。

水道の引込パイプをいれかえて、水圧をあげ、水の出方をよくすること。今、水道局に向合わせ中ですから、しばらくお待ち下さい。完全給食の申請にもなつて附添

の診察に一日か、りさりと、結局、患者さんを嫁にでももらつて引取れば解決がつかなくなるようなこととなる。

○…医者が医士行為の枠の中にとどまつてゐるのは、明らかに責任問題であるけれど、…かといつて、家畜、端引受けて走り廻つてゐるのも、さへは憐れな話である。社会が悪、のか、政治が悪いか、元々、業よ、大きな問題である。(P)

皆さんの食事は、三食とも添付してありますことになりましたが、実施に尾島さんに一任となりました。

看護婦、五十嵐三千代君、炊事係、渡辺知子君、右二名勤務して間のことになりました。どうかよろしく。

告、スリッパの消耗がはげしいので困つております。入院患者さんは必ずお持ち下さい。

活動状況

在院患者数



月始	二〇名	九名	二九名
月末	二〇名	八名	二八名
合計			

手術施行数

胸部整形術	二七名
空洞切除術	一名
横膈疝切除術	一名
胸腔焼灼術	一名
胃潰瘍胃切除術	二名
虫垂炎切除術	四名
外未達者延数	五二六名
一般患者	一二三名
結核患者	一〇名
入院待機患者	一〇名



銃獵一年生の巻

院長

約三十年の老戸をもつ銃獵ニアの僕が
初めて十二番ニ銃を買って山に出か
けたとさの話です。

山梨県の上野原にて一泊してとねし
ません。朝暗いうちから案内者の獵師と
出かけました。この日は不運にも何の獲
物にも出会いませんので、午前三時頃まで
歩きつづけたの弱いはへとくになり
ヨク／＼とあとからなれぬ鉄砲をかつ
いでついてゆきました。
突如犬のなき声。兎を追いだしたので
獵師は「ここに待っていて下さい」という
のでばんやり待っていた。約三十分……
犬のほえる声か何うの山に聞こえ、けた
ましくこたましたよ
す。獵師らしい人影も
みなくなりました。
……と、約十周程前に兎



がチヨコナンと立っているではありませ
んか。シメタ、とばかりはやる脚をお
さえて教わつた通り、ズドンと一発
。見事命中。

銃音を聞いて獵師と犬がかけ出してき
ます。「先生、スゴイですわね」と半おほ
められ、半分おぼてられる始末。

この日の獲物は兎一羽さし。それでも
大得意の僕は、汽車の網棚に、兎をのせ
てふんぞりかえつて帰つてきました。
あくる日、頸とおしりが痛かゆくなり
ました。何でもあるまいと、どっまゝに
しておきました。が、一ヶ月後、どうもあ
まりおかしいので、しらべてみると、見
たこともない大きなカサブタのよ
うにはばりついていて、ではありません
か。驚ろいたの何の……そう思えば、
網棚の上の兎から何かほとく落ちて
きたような感じを思い出しました。

つかまえた兎に一月も仇をとられ
ていて気がつかなくつたとは……
一年生らしい失敗でした。

コッポさん(編)講習会
大へんメロロでよく笑う看護婦さん
んたらが、この頃妙に静かです。とくに

事務長の巻
ある日のこと、ぶらりと去
る志にあられれた男。
この男、ちよつと変り種で
東大の至清を出て象牙の
塔に、もたてこもつていられ、何とか
人生をちよつとまかしてゆけるのに、
大のアカデミズム叛逆者。惜しげ
もなく野に下つたはい、が結局し
がない所匿者の処に居候というわけ。
と三つが仕事をはじめてわづか三つ

昼休みや夜にはシートンとしてゐるの
にお氣づきでしょうか。それは、みん
なをろつて最近、レース編マのおケ
イコを始めたからなんです。コッポ
さんというのは丸い編物の機械の名
前で、その上に遅々として異称を形
をした敷物を編んでゆくわけ。す。
講師は要務室のミツタ女史、月謝
はオボシメシでいい、そうです。附添
さんも是非御入会下さいとのこと。
卒業まで三月ほどどうぞです。

カイ 化学療法剤
セツ について
細菌感染には化学療法剤を。
というのが最近の常識になつてき

月で、病院は明るくなり三度女を更
えて、今では三ロベットのちよつとセピア色
の堂々たる(病院)を展覧。
女の子に甘いのが欠かぬが、赤んぼ、結
核、離婚となか／＼、敵も堂々で
患者さんの身上相談にはもつてない。
この人物、すなわち副院長とは高
等学校以上の友人で、毎日三局でい
らぶらし、こいる長尾事務長、……
その昔は、三川でも秀才と云われた
男である。

まじつとも一般的なものには
肺病に→ペニンリン
又はサルファ剤
結核性疾患に→ストロプトマイシン
又はパス

これらの薬は発病の原因をなす病原
菌にだけ殺菌作用があり、活動中の病
原菌の中に侵入して、たちまちその力
を弱めてくれます。
だから結核性の熱に、アミノペリンを與
え、温熱中絶を麻痺させて熱が下つ
たとしても、それは化学療法とはい
ません。
しかし今のところ、結核菌を死滅させ
るほど強力な化学療法剤も発見さ
れておりません。

新 路

責任者 院長 尾長
内科 外科 小野
病棟 事務 中野
発行 編集

有料配布
本号より一部式月で配布する
ことになりました。いっとう
よろしくおねがいします。

もつと患者の声を。

退院患者から要望

新路を手にして、いつも患者の元氣な声が少ないと感じるのは、私一人ではないでしょう。もつと新路をおして、お互の近況を交換しよう。

入院中は不自由な身体もいとわず、枕辺をぐるぐるめたり、見舞つたり、或は励ましあつてきた浅からぬ縁、一人の患者者も出してはいけない。

今後中心のスクラムをガッチリ組んで、ともに 道を切りひらいてゆこう。一茶の句に

かたつわりそろく上れ富士の山
なにか私運に教えているものがあ
るようです。その日その日のつとめ
をおこなわず、焦らず営業として
の一步ママが、やがて富士山をも征
服することが出来るのでしよう。

二十世紀の人間はこの病気に負け

ていない、否、克服して来たことを後世の人に実証する義務があると思ふのです。

では御機嫌よう。新装成つた織本病院の自稱第一期生よ、三月四月退院者よ、名乗りをあげ給え。(北区下十條 小林 強)



休けい。 x x x
O... 結核患者に接してしばらくすると、どんな医者でも「医者の限界」というものを感じるらしい。患者界は、民生保護のと方から、「医費の支払、就職の世話から離婚の相談まで主治医に打明けるものである。O... 患者が一人々々大きな社会問題を背負っていることはよくわかるけれど、一々劇いていたんでは一人

洗濯場がふえます

水道栓一本で今まで不自由していた洗濯場が、この間附添婦さんの懇談会で増設してもらおう、ということになり、病院も金一百万円を投じて玄關脇に一坪の洗濯場をつくることになりました。六月中旬から使える予定です。

水道の引込パイプをいれかえて、水圧をあげ、水の出方をよくすること。今、水道局に問合せ中ですから、しばらくお待ち下さい。完全給食の申請にもなつて附添

の診に一日かゝりきりだし、結局その患者さんを嫁にでももつて引取りぬば解決がつかなくなるようなこととなる。

O... 医者が医士行為の枠の中にとじこもつてゐるのは、明らかに責任回避であるけれど、...かといつて家事の端引受けて走り廻つてゐるのも、忘るは憐れな話である。社会が悪いのか、政治が悪いのか、医業分野よ、大きな問題である。(P)

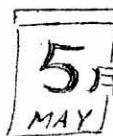
婦さんの食事は、三食とも病院で出すことになりましたが、実施は見島さんに一任となりました。

看護婦、五十嵐三千代君、炊事係、渡辺和子君、右二名勤務して願ふことになりました。どうかよろしく。

告。スリッパの消耗がはげしいので困つております。入院患者さんには必ずお持ち下さい。

活動状況

在院患者数



月始	二〇名	九名	二九名
月末	二〇名	八名	二八名
結核	その他	合計	

手術施行数

胸廓成形術	二七名
空洞切開術	一名
横膈神萎除術	一名
胸腔焼灼術	一名
胃潰瘍胃切除術	二名
虫垂切除術	四名
外來患者延数	五二六名
一般患者	一二三名
結核患者	一〇名
入院待機患者	



ぼくの 銃獵一年生の巻 院長

約三十年の老手をもつ銃獵ニアの僕が
初めて十二番二連銃を買って山に出か
けたときの話です。

山梨県の上野原で泊つてくつねを
しません。朝暗いうちから案内者の獵師と
出かけました。この日は不運にも何の獲
物にも出会いませんので午後三時頃まで
歩きついで足の弱い僕はへたくすになり
ヨタ／＼とあとからなれぬ鉄砲をかつ
いでついでゆきました。

突如犬のなき声。兔を追ひ出したので
獵師は「ここに待っていて下さい」とい
うのでぼんやり待っていた。約三十分
犬のほえる声が向うの山に聞こえた



す。獵師らしい人影も
みえなくなりました。
……と、約十向程前に免

がチヨコナンと立っているではありませんか。シメタ、とばかりはやる胸をおさえて教わつた通り、ズドンと一発
。見事命中、
銃声を聞いて獵師と犬がかけ出してき
ます。「先生、スゴイですね」と半おほ
められ、半分おぼてられる始末。

この日の獲物は免一羽きり。それでも
大得意の僕は、汽車の網棚に免をのせ
てふんぞりかえつて、帰つてきました。
あくる日、頸とおしりが痛かゆくなり
ました。が何でもあるまいと、どくまに
しておきました。が、一ヶ月後、どうもあ
まりおかしいので、しらべてみると、見
たこともない大きなガニが、カサブタのよ
うにへばりついていて、ではありません
か。驚ろいたの何の……そう思えば、
網棚の上の免から何かぼとく落ちて
きたような感じを思い出しました。

つかまえた免に一月も仇をとら
れていて気がつかなかったとは……
一年生らしい失敗でした。

コッポさん(編)講習白会

大へんメローでよく笑う看護婦さん
たちだが、この頃妙に静かだ、とくに

事務長の巻 一筆啓上

ある日のこと、ぶらりと玄
関先にあらわれた男。
この男、ちよつと変り種で
東大の全済を出て象牙の
塔にでもたてこもつていれば、何とか
人生をちよろまかしてゆけるのに、
大のアカデミズム叛逆者。惜しげ
もなく野に下つたはい、が結局し
かない町医者の方に居候というわけ
と、ころが仕事をはじめてわづかミラ
昼休みや夜にはシーンとしてゐるの
にお気づきでしょうか。それ、さん
なをそろつて、最近、レース編みのおケ
イコを始めたらからなんです。コッポ
さんというのは丸い編物の機械の名
前で、その上に座るとして異称を形
をした教物を編んでゆくわけです。
講師は事務室のミツタ女史、月謝
はオボシメシでいい、そうです。討茶
さんも是非御入会下さいとのこと。
卒業まで三月ほどぞうです。

カイ 化学療法剤

細菌感染には化学療法剤を
というのが最近の常識になつてき

月で、病院は明るくなり三度まで
えて、今では三ロベットをもちつて、
の堂々たる(う)病院に入院。
女の子に甘いのが欠点だが、赤ん坊、結
核、離婚となか／＼と、
患者さんの身上相談にはもつて、
この人物、すなわち副院長とは、
等学校以上の友人で、毎日三度、
ら／＼といる長尾事務長、
その昔は、これでも秀吉と云われた
男である。

化膿炎消症に→ペニリン
又はサルファ剤
結核性疾患に→ストレプトマイシン
又はパス
又ハス

これらの薬は発病の原因をなす病原
菌にだけ殺菌作用があり、活動中の病
原菌の中に浸入して、たちまちその力
を弱めてくれます。

だから結核性の熱に、アミノピリンを與
え、温熱中枢を麻痺させて熱が下つ
たとしても、それは化学療法とはい
ません。

しかし今のところ、結核菌を死滅させ
るほど強力な化学療法剤も発見さ
れておりません。

退院患者へ往診

調査班もくり出す

今のところ術後三月以内で病院にいらぬ患者さん、自宅訪問の主な対象としています。それ以外の方でもとくに一般状態が悪い方は、おかりや、すい道順を書きお返り下されば訪問のスケジュールに組みます。

いまは副院長が往診する程度ですが、これと合せてレントゲンの出張撮影をしたり、遠隔成績をとるための調査をする予定です。また、血沈その他検査や、検査指導のために看護婦も出張します。レントゲン班、調査班、検査班というわけです。このようなのは、すべて新路の会としてやりますから、別項会則をお読みになって御入会下さい。

○「新路」会則(榮栄・聖泉の社)
一、新路会は嶽本病院の退院患者を主たる対象にした、自主的な患者と病院とをなぐ組織である。
二、事務局を病院内におき、病院及び患者の代表が協議の上、会の活動を

決定し、実行する。

三、活動の主なものは退院患者に対する医師の自宅訪問、検査指導等、その他看護婦の往診、レントゲン出張撮影及び患者の実態調査がふくまれる。

四、往診料は元の通りとし、料金は往診の度毎に支払う

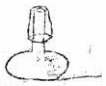
医師の往診	看護婦のみ
五、四料以内	二〇〇円
五、四ハ料	五〇〇円
五、四ハ料	一〇〇〇円
五、四ハ料	一五〇〇円
五、四ハ料	二〇〇〇円
五、四ハ料	二五〇〇円
五、四ハ料	三〇〇〇円
五、四ハ料	三五〇〇円
五、四ハ料	四〇〇〇円
五、四ハ料	四五〇〇円
五、四ハ料	五〇〇〇円

オピク

静荘もんだい

よみうり朝日両紙から「恐怖の養命」と叩かれて、結局管理者交替命に別れた静荘もんだいは、都内各病院の管理者にメールの大きな警告になった。患者の非良心がこれほどよくあつた事件は他にない。道に患者の良心を有効に生かしてやろうとする政治家のなすが、専らオピク

いる。患者も患者も、T.B.ばくめつという共通の目的をもつていながら、どうしてこんな対立するのか。病院は予算がないうという。口庫補助も前代だけで、苦しい事情はよくわかるが、病院は決して他人の営利を追求し発展する所「株式会社」ではない。制度の予備は予備、他人の良心は良心で、別々に考えるべきだろう。当病院の活動についても、大きな「他山の石」となる。



肺摘出と

筋肉充填術

最近、新しい手術を二例おこなひ、いづれも経過良好です。

その一は、空洞即閉筋肉充填術で、一度成形術をおこなつて残つた巨大空洞に對しておこなうもので、アインペニリンを併用して、切開した空洞をきりいにして、そこに肋骨筋を充填し空洞を肉質すると、いう手術です。成形中に空洞を触知することはよくあるが、結核菌の集積である。普通は三センチもある。球状の空洞を又々で切りひらくこ

五、入院中及び退院した患者を対象にニコス「新路」を設け、会員に無料配布する。
以上

（来）（往）（事）（人）

◇お収めて看護婦の補充をはかつていました。この日、元日大演劇病院にいた細井幸子君を招聘し、看護婦の合計は七名になりました。

◇検査部は培養検査のエキスパート宮田泰一君を招聘しようとして、し。

◇は、外科手術でなければ味わえないスリルです。黄色とろくした乾酪性の液体が充満しています。まさしく「結核菌の顔」を拜見するわけです。きりいにして掃除をして肉のままで、実に二時間と三分かかりました。

その二は、肺摘出術で時間は二時間五十分、出血量四〇〇ccというすばらしい成績でした。(普通は六時間くらいかかります)前胸乳の上から開いて肋骨一本切除、ゴム風船のような肺を慎重に剝離して肺動脈、気管、枝口など生命の綱をしつかり縛つた後、おもむろに切除するので、二水では胸腔の全貌を見ることができ、同時に物凄く出血量に極度の緊張をおぼえます。いづれもまた増格されたばかりの手術はです。(アインスタンより)

「の争とも」

先日、私の週に赤坂友人が北区では自宅療養者の会の代表の西三に語る交渉から、区議会として正式に結核対策を採りあげることと決議し、ストマイ、パスの一時口替を区で負担することを認めたと語って行った。

これは最近のニュースでも我々の下向患者にとつて参考になるニュースの一つだ。吉田ワノンさんがつた八十億の支出にしろ百らまいの結核対策費を「寸寸する」と言つて先口口口になり厚生省内でも「おんまりだ」と激怒組の勢が上つたのは材料だが、私の毎でも我々全国百五十万人の救ひのべりだ。全国で一万七、二、東京都で二千人と聞いては、何れも何れもわらわらだ。

一、使つて心算に少いのかと別家子算とゆう七重劇臭いものをよく見ると、中一、さきり自立つものには総戦車費千二百億と警察予備隊費六十億があつて「ハハハ」と思わされるし、何時の間にか日比谷公園中に捕獲中の国際、台北が三十億円の予算だと聞かしては、将に発掘ものである。戦争により病気が起き、病人は投とれ人誰が失はれ

てゆく時、北区の様に近所隣りの結核患者が手を携えて医師や行政機関を味方につけて斗つてゆく必要を今更のように感じるのです。

日野診療の記録から

五月始めに入院申込をしていつた○さんが今日再びやつて来た。五月に入院の履歴が来たので通知を出しておいたのにその返事争が止絶えていた人だ、退院した○さんから最近の病院の様子を知いて来たという。

五月頃に較べて書箱の医療費負担が分取つた。今頃はパス、マイシンを使う時は費用を承認されても、そのお金が出る道が同じに二ヶ月かゝるので出入病院の財政難で、自分かぬいされず、特に昨年冬の改築費で資金を使つてしまつたので、患者自身は金で苦つていた。輸血料も同じであつた。鐵道病院では大運動会をやるから二回の手術時の輸血を台替ると四軒五百円位の輸血代がかかる。その他に耐添料の立替金など約一万円ほどもある。これが患者にとつて相当大きな負担にやつていたのは、いふまでもない。

患者自治会が六月に発足してから自治会の申入れで、これらは徐々に改善されていつた。今ではパ

ス、マイシンの立替えは無理でない人の他は病院として負担する事に行つた。治療材料券さえ揃えれば医療保護の人の輸血料は輸血協会で立替える事になつた。耐添料は病院として立替へないが耐添さんに持つて貰い、その間に耐添さんが困つたら病院がお金を貸すと云ふ形になつた。てついう争が決る前にも事実上は耐添の立替えられぬ患者さんは幾人かいたのだつたが……

○さんは申るに、額をして今日はやつて来た。それだ、このういふ話を部分的にはあつたが、○さんに聞いて来たからであつた。

手術を受けようとする患者さんにとつてこれほどあつたまうな二万円を上廻る立替金は確かに大きな負担であつた。○さんが入院通知を受日とつた時に思い、患つたのは全く終着のな事柄だけであつた。残念なつたが入院を断念した。然し三ヶ月の間に患者自治会が種々案つた成果は○さんを再び入院申込みさせた。○さんは明るく顔をして帰つていつた。見送りには私は自治会の社員がどんなに大きな意味をもつかと云ふこと、全時に病院が正しい解を遂げるためにも自治会と云う組織がどんなに大きく役立つてゐるかという事を改めて考えさせられた。

(児島美津子 鐵道病院医事録)

退院患者へ往診

調査班もくり出す

今のところ術後三月以内で病院にいらぬ患者さんを、自宅訪問の主な対象としています。それ以外の方でもとくに一般状態が悪い方は、わかりやすい道順を書いてお送り下さい。訪問のスケジュールにきめます。

いまは副院長が往診する程度ですが、これと合せて、レントゲンの出張撮影をしたり、遠隔成績をとるための調査をする予定です。また、血池その他の検査や、養指導のために看護婦も出張します。レントゲン班、調査班、検査班というわけです。このようになるとは、すべて新路の会としてやりますから、別項会則をお読みになつて御入会下さい。

○「新路」会則（原案・要泉の社）
一、新路会は織本病院の退院患者を主たる対象にした、自宅を養護者と病院を養護者とする組織である。
二、事務所を病院内におき、病院及び患者の代表が協議の上、会の活動を

決定し、実行する。

三、活動の主なものは退院患者に対する医師の自宅訪問、養指導等、その他看護婦の往診、レントゲン出張撮影及び患者の実態調査がふくまれる。

四、往診料は老の通りとし、料金は往診の度毎に支払う。

医師往診	看護婦のみ
四料以内	二〇〇円
五〜八料	五〇〇円
九〜一三料	一、〇〇〇円
一四〜一八料	一、五〇〇円
一九〜二四料	二、〇〇〇円
二五料以上	二、五〇〇円

おまけ

静月荘もんだい

よみうり、朝日西紙から、恩師の養命所と叩かれて、結局、管理者交替せられた静月荘もんだいは、都内各病院の管理者に、一ツの大きな警告になった。医者、の非良心が、これほどよくあばかれた事件は他にない。逆に医者の良心を有効に生かしてやろうとする政治家のなきが、実業家、ハル、いる。医者も患者も、T.B.はくめつという共通の目的をもつていながら、どうしてこんなに対立するのか。病院は予算がないといふ。口庫神助も名前だけで、苦しい事情はよくわかるが、病院は決して他人の営利を追求し、発展する所謂「株式会社」ではない。制度の矛盾は予盾、他人の良心は良心で、別々に考えるべきだろう。当病院の活動についても、大きな「他山の石」となる。



五、入院中及び退院した患者を対象にニコス「新路」を建設し、会費に無料配布する。
以上

肺摘出と筋肉充填術

最近、新しい手術を二例おこなひ、いづれも至過、良好です。

その一は、空洞切開筋肉充填術で、一度成形術をおこなつて、残った巨大空洞に対して、おこなうもので、マイシン、ペニシリンを併用して、切開した空洞をきれいにし、そこに肋間筋を充填し、空洞を肉鎖するという手術です。成形中に空洞を触知することはよくあるが、結核菌の巣である直径三センチもある球形の空洞を、手で切りはらくに

（未）（往）（専）（人）

○か収めて看護婦の抜毛をばつて、いましてが、このたび元日大定稿病院にいた細井幸子さんの採用、これで看護婦の合計は七名になりました。

◇検査部に培養検査のエキスパート宮田泰一君を採用しようとして、しく。

とは、外科手術でなければ、味わえないスリルです。黄色とろくくした乾酪性の液体が充滿しています。まさしく「結核菌の顔」を拜見するわけです。きれいに掃除をして肉のまで、実に二時間と三十分かりました。

その二は、肺摘出術で、時間は二時間五十分、出血量四〇〇ccというすばらしい成績でした。（普通は六時間ぐらいかかります）前胸、乳の上から開いて、肋骨一本切除、ゴム風船のような肺を慎重に剝離して、肺動脈、気管枝口など生命の綱をつかり縛った後、おもむろに切除するので、二例では胸腔の全貌を見ることができ、同時に物薄い出血量に、極度の緊張をおぼえます。いづれもまた開胸されたばかりの手術法です。（アシスタントより）

手術は爽快な登山である

◇手術をうけられる療友へ◇

「成形手術は爽快な登山である」といふことになり、シンケンな気持ちで真直に迫つた手術を待つておられる療友の皆さまの中から「他人のことだからそんなノンビリしたことがいえるのだから手術をうけるオレの気持ちになつてみろ」とフンガイされるでしょう。

しかし、チョット待つて下さい。ボクは今年の正月に織本病院に入院して、補整手術を三回にわたつた体験から「成形手術は爽快な登山である」という結論をえたのです。手術が楽だといつてゐるのではありません。手術は確かに苦しいです。だからといつて、健康会議の正月号に「手術後の絶食は手術創の痛みや呼吸困難等に劣らないほどの苦しみです」という意見には賛成しかねるのです。



手術は苦しい、しかしその苦しみは登山の時に味う苦しみと同じだと思つてゐる。手術台にのぼつて、手術を待つてゐる気持はピッケルとロープで絶壁を登らうとしてゐる時に味う未だ明

しいスリルと言險に瀕した気持と似てゐます。

先生が「エイッ」と肋骨を切るときに送る「ボキリ」という音はピッケルで絶壁の岩石を突き刺す音にそっくりです。手術が終つて病室に帰つてくるとき靴は絶壁の上を立つて、体のロープを解く時の爽快な征服感と正に同じです。

手術八時間後にのむ三ツアラムの水のうまさ、一週間後の夜祭の時、その飲比は山頂に達して、下界を見下す気分と全く同じです。(ボクはアメリカ爽快すぎで、術後十日目に他所へ行つて、婦長さんに「お目玉頂きました」)

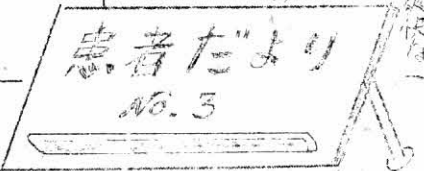
以上のことからボクは「成形手術は爽快な登山である」という結論をえたのです。療友の皆さま、元気で手術を受け、一日も早く回復されることを祈ります。(杉並区・堀田武夫)

安静について

療友の皆さん、御加減いかがですか。この誌上をかりて、私の体験よりえしました。こんなやかな私感を書かせて頂くことにしました。……

「飛煙」のオチ一步は安静を守る。……

められた安静をどうも逸脱する傾向が多いのです。織本病院



の手術をうけても、患者が術後半年間の安静を確實に守つてくれなくては、その手術も失敗に終つて、語つてくれませんが、私も短かい経験からそう思います。臨床医の決めた安静度には、科学の根據があり、患者は科学の根據が、無視したので

が充分によつてそれを無視したので、科学もなにもあつたものではありません。結核における科学とは、再生骨による肺膨張の阻止、及び安静による結核菌の死滅という二元系を指すの

です。

手術によつて虚脱された肺の再膨張の最も盛なのは、術後三ヶ月、その後の三ヶ月は、緩慢に膨張し、この六ヶ月をすぎると一応安定するのです。この絶対的に安静を必要とする三ヶ月を肺の再膨張を助成させるが如き行動をしながら送つたとき、その予後の不良に終つては当然の帰結です。

現今はその以前の医者に匙を投げられ、患者をも治すことの出来る時代です。それは科学力に安静という力が加味される結果なのでして、治療への洞察をうけるためには、この二元系のどちらをも欠くことは出来ないのです。(このほか周知のことく大気・栄養の二要素があります)

すでに手術を受けられました方も、又これから手術を受けられます方は、尚更のこと、安静のいかに必要か、その安静によつて予後が決定されるということを胸に刺しておいて下さい。そして科学の勝利を知性による行動によつて、自己のものにしませう。(横浜市 木全 見)



新 路

本院之
病科
主任
尾形
長
尾形
長
尾形
長

有 料 配 布
本号より一部式円で配布する
ことになりました。どうぞ
よろしくおねがいします。

もつと患者の声を。

退院患者から要望

新路を手にして、いつも患者の元氣な差が少なく感じるのは、私一人ではないでしょう。もつと新路をおして、お互の近況を交換しよう。

入院中は不自由な身体もいとわず、枕辺をなぐさめたり、見舞つたり、或は励ましあつてきた浅からぬ縁、一人の落伍者も出さずにはいけない。

今後中心のスクラムをガツナリ組んで、ともに 道を切りひらいてゆこう。 一茶の句に

かたつわりそろく、上ル富士の山なにか私達に教えているものがあ
るようです。その日その日のつとめをおこならず、焦らず営々としての
一歩々々が、やがて富士山を征服
服することが出来るのでしょうか。

二十世紀の人間はこの病気に負ける

ていない、否、克服してきたことを
後世の人に実証する義務がある
と思うのです。

では御機嫌よう。新装成つた織
本病院の自編第一期生よ、三月
四月退院者よ、各乗りをあげ給
え。(北区下十條 小林 強)

体けい
○……結核患者に接し
てしばらくすると、どん
な医者でも「医者に限
界」というものを感ずるらしい。患者
は、民生保護のとり方から、一医費
の支払、就職の世話から離婚の相
談まで主治医に打明けざるを得ない。
○……患者が一人々々大きな社会問
題を背負つてゐることは、よくわか
るけれど、一々聞いていたのでは一人



の診察に一日か、りさりだら、結局そ
の患者さんを嫁にでももらつて引取
らねば解決がつかなくなるようなこ
とになる。

○……医者が医行為の枠の中に
とじこもつてゐるのは、明らかに責
任回避であるけれど、……かといつて
家事の端引受けて走り廻つてゐる
のも、たゞは憐れな話である。社会
が悪いか、政治が悪いか、医業分
業も、大きな問題である。(P)

洗濯場がらえなす

水道栓一本で今まで不自由していた
洗濯場が、この間附添婦さんの懇
談会で増設してもらおう、ということ
になり、病院も金一万円ナリを投
じて本園脇に一坪の洗濯場をつ
くることになりました。六月中旬
から使える予定です。

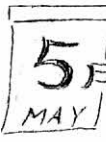
水道の引込パイプをいれかえて、
水圧をあげ、水の出方をよくする
ことも今、水道局に向合せ中
ですから、しばらくお待ち下さい。

完全給食の申請にもなつて附添
婦さんの食事は、三食とも病院で出
すことになりましたが、実施は見島
さんに一任となりました。

看護婦、五十歳三千代君、炊事 板 係、渡辺和子君 右二名勤務して間もなくことになりま した。どうぞよろしく。

告。スリッパの消耗かはげしいので困
つております。入院患者さんは必ず
お持ち下さい。

活動状況



在院患者数

結核	その他	合計
月始 二〇名	九名	二九名
月末 二〇名	八名	二八名

手術施行数

胸部成形術	二七名
空洞切開術	一名
横隔膜神経除術	一名
胸腔焼灼術	一名
胃潰瘍胃切除術	二名
虫垂炎切除術	四名
外來患者延数	
一般患者	五二六名
結核患者	一二三名
入院待機患者	一〇名



ぼくの
銃獵一年生の巻
院長

約三年の専らをもつ銃獵ニアの僕が
初めて十二番三連銃を買って山に出か
けたとさの話です。

山梨県の上野原駅で泊帳してねむれ
ません。朝暗いうちから案内者の獵師と
出かけました。この日は不運にも何の獲
物にも出会いませんので午後三時頃まで
歩みどめで足の弱い僕はへたくすになり
ヨタ／＼とあとからなれぬ鉄砲をのっ
いでついてゆきました。

突如犬のなき。兔を追いだしたので
獵師は「ここに待っていて下さい」という
のでぼんやり待っていた。約三十分……
犬のほえる音が向うの山に聞こえけた



……と、約十間程前に免
す。獵師らしい人影も
み なくなりました。

がチヨコナンと立っているではありませ
んか。シメタ、とばかりはやる恥をお
さえて教わつた通り、ズドンと一発
で見事命中、

銃声を聞いて獵師と犬がかけ出してき
ます。「先生、スゴイですね」と半歩ほ
められ、半歩おどせられる始末。
この日獲物は免一羽さし。それでも
大得意の僕は汽車の網棚に免をのせ
てふんぞりかえつて帰つてきました。

あくる日、頸とおしりが痛かゆくなり
ました。何でもあるまいと、そのまゝに
しておきましたが、一ヶ月後、どうもあ
まりおかしいので、しらべてみると、見
たこともない大きなガニが、カサヅタのよ
うにはばりついていてはではありません

か。驚ろいたの何の……そう思えば、
網棚の上の免から何かぽとく落ちて
きたような感じを思い出しました。
つかまえた免に一月も仇をとられ
ていて気がつかなかつたとは……
一年生らしい失敗でした。

コッポさん(編)講習習会

大へんメーローでよく笑う看護婦さ
んたちが、この頃妙に静かできくに

上巻 一筆

事務長の巻

ある日のこと、ぶらりと玄
関先にあわわれた男。
この男、ちよつと変り種で
東大の全済を出て象牙の
塔にでもたてこもつていれば、何とか
人生をたよろまかしてゆけるのに、
大のアカデミズム叛逆者。惜しげ
もなく野に下つたはいが、結局し
かない町医者ゝの処に居候。というわけ。
ところが仕事をはじめてわづかミテ

昼休みや夜にはシーンとしているの
にお気づきでしょうか。それは、みん
なそろつて、最近レース編みのおケ
イコを始めたからなんです。コッポ
さんというのは丸い編物の機械の名
前で、その上に遅々として異様な形
をした教物を編んでゆくわけですよ。
講師は事務室のミツタ女史、月謝
はオボシメンでいいやうです。附添
さんも是非御入会下さいとのこと。
卒業まで三月ほどさうです。

カイ 化学療法剤
セツ について

細菌感染には化学療法剤を。
というのが、最近の常識になつてき

月で、病院は明るくなり三度退院を
えて今では三ロケットをもつてピア色
の堂々たる(う)病院に全展。
女の子に甘いのが欠点だが、おんを
婚離婚となかく、一験も健康で
患者さんの身上相談に役もつてこい

この人物、すなわち副院長とは、高等
等学校以来の友人で、毎日医局で
らぶらしている長尾事務長、
その昔は、これでも秀才と云われ
男である。

もつとも一般的なものには
膿炎消滅に → ペニシリン
又はサルファ剤
結核性疾患に → ストレプトマイシン
又はパス

これらの薬は全病の原因をなす病原
菌にだけ殺菌作用があり、活動中の病
原菌の中に浸入して、たちまちその力
を弱めてくれます。

だから結核性の熱に、アミノピリンを興
え、温熱中絶を麻痺させて熱が下つ
たとしても、それは化学療法とはい
ません。

しかし今のところ、結核菌を死滅させ
るほど強力な化学療法剤も発見さ
れておりません。

退院患者へ往診

調査班 もくり出す

今のところ術後三月以内で病院にいらぬ患者さんを、自宅訪問の主な対象としています。それ以外の方でもとくに一般状態が悪い方は、わかりやすい道順を書いてお送り下さいれば訪問のスケジュールにくなります。

いまは副院長が往診する程度ですが、これと合せてレントゲンの出張撮影をしたり、遠隔成績をとるための調査をする予定です。また、血沈その他の検査や看護指導のために看護婦も出張します。レントゲン班、調査班、検査班というわけです。このようなことは、すべて新路の会としてやりますから、別項会則をお読みになつて御入会下さい。

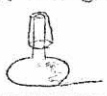
○「新路」会則(原案・野矢の社)
一、新路会は熊本病院の退院患者を主たる対象にした、自宅を養老者と病院を組織である。
二、事務所を病院内におき、病院及び患者の代表が協議の上、会の活動を

決定し、実行する。
三、活動の主なもの退院患者に對する医師の自宅訪問、看護指導等、その他看護婦の往診、レントゲン出張撮影及び患者の実態調査がふくまれる。
四、往診料は元の通りとし、料金は往診の度毎に支払う
五、医師往診 看護婦のみ
六、四料以内 二〇〇円 五箇十支通
七、四料八料 五〇〇円 一〇〇円十支
八、八料二料 六〇〇円 一五〇円十支
九、二料上 別におき 二〇〇円十支

○トピック

静凡荘もんだい

よみうり、朝日西紙から「静凡荘」の養命所と叩かいて、結局管理者交替の静凡荘にしたいは都内各病院の管理者にも一つの大きな警告になった。患者の非良心がこれほどよくあはかした事件は他にない。逆に患者の良心を有効に生かしてやろうとする政治的な動きが、患者と病室も、T.B.ほくめつという共通の目的をもっていないから、どうしてこんなに対立するのか。病院は予算がないという。口庫補助も名前だけで、苦しい事情はよくわかるが、病院は決して他人の営利を追求し発展する所謂「株式会社」ではない。制度の予算は予算、他人の良心は良心で別個に考えるべきだろう。当病院の活動についても、大きな「他山の石」となる。



肺摘出と筋肉充填術

最近、新しい手術を二例おこなひ、いづれも至過良好です。
その一は、空洞切開筋肉充填術で一度成形術をおこなつて残つた巨大空洞に對して、おこなうもので、マシリンを併用して、切開した空洞をきりんにし、そこに肋間筋を充填し空洞を肉鎖する、という手術です。成形中に空洞を触知することはよくあるが、結核菌の感染である過程で、三センチもある、球形の空洞を又で切りひらくこ

五、入院中及び退院患者を對象にニコラス「新路」を設け、會員に無料配布する。以上

（未）（往）（事）（人）

◇か収看護婦の抜充をはかつていしましたが、このたび元日本病院病院にいた細井幸子君を招聘して看護婦の合計は七名になりました。
ト宮田泰一君を採用しようとする。

とは、外科手術でなければ味わえない液体が充満しています。まさしく「結核菌の顔」を拜見するわけです。きりんに掃除をして閉めるまで、実に二時間と三〇分かかりました。
その二は、肺摘出術で時間は二時間五〇分、出血量四〇〇ccというすばらしい成績でした。(普通は六時間ぐらいかかります)前胸・乳の上から開いて肋骨一本切除、ゴム風船のような肺を慎重に剝離して、肺動脈・気管枝口など生命の綱をしっかりと縛つた後、おもむろに切除するのです。二例では胸腔の全貌を見ることができ、同時に物薄い出血量に極度の緊張をおぼえます。いづれもまた開始されたばかりの手術法です。(アンスタット)

手術は爽快な登山である

◇手術をうけられる療友へ◇

成形手術は爽快な登山である。さしつかえなく、シンケンな気持で真摯に向つた手術を待つておられる療友の皆さまの中から「他人のこゝだからそんなノンビリしたことがいえるのだから手術をうけるオレの気持になつてみる」とワンガイスれるでしょう。

しかし、先ヨツト待つて下さい。ボクは今年の正月に織本病院に入院して補整手術を三回にかけた体験から「成形手術は爽快な登山である」という結論をえたのです。手術が楽だといつてゐるではありません。手術は確かに苦しいです。だからといつて健康會議の正月号に「手術後の絶食は手術創の痛みや呼吸困難等にみづからないほどの苦しみです」という意見には賛成しかねるのです。

手術は苦しい

登山の時に味う苦しみと同じだと思います。手術にのぼつて、手術を待つてゐる気持はピッケルとロープで絶壁を登らうとしてゐる時に味う素暗

しいスリルと言險に落ちた気持と似てゐます。

先生が、エイッ！と肋骨を切るときに空する「ボヤリ」という音はピッケルで絶壁の岩を突き刺す音にそっくりです。手術が終つて病室に帰つてくるときは靴は絶壁の上に立つて、体のロープを解く時の爽快な征服感と正に同じです。

手術八時間後にのむ三ツゴラムの水のうまさ、一週間の後、抜糸の時、その飲虎は山頂に達して、下界を見下す気持ちと全く同じです。(ボクはアメリカ爽快すぎて、術後十日目に使所へ行つて婦長さんにお目玉頂きました)

以上のことからボクは「成形手術は爽快な登山である」という結論をえたのです。療友の皆さまも元気で手術を受け、一日も早く回復せんことを祈ります。(杉並区・田武夫)



安静について

療友の皆さん、御加減いかがですか。この誌上をかりて、私の体験よりえしました。さ、やかな私感を書かせて頂くことにしました。……

「灰燼のオ一步は安静を守る」ことです。私達は医師から定められた安静をどうも逸脱する傾向が多いのです。織本病院のH看護婦は「いくら名匠の手術をうけても、患者が術後半年間の安静を確実に守つてくれなくては、その手術も失敗に終る」と語つてくれましたが、私も短かい経験からそう思います。

臨床医の決めた安静度には科学の根據があり、患者が気分によつてそれを無視したので、科学もなにもあつたものではありません。

結核における科学とは、再生骨による肺膨張の阻止、及び安静による結核菌の死滅という二元系を指すの

です。

手術によつて虚脱された肺の再膨張の最も盛存のは、術後三ヶ月、その後の三ヶ月は、後遺に膨張し、この六月をすぎると一応安定するのです。この絶対的に安静を必要とする三ヶ月を肺の再膨張助成させるが如き行動をしながら待つておるとすれば、その予後の不良に終ることは当然の帰結です。

現今はその必用の医者に匙を投げられた患者をも治すことの出来る時代です。それは科学力に安静という力が加味された結果なのでして、治療への栄冠をうけるためには、この二元系のどちらをも欠くことは出来ないのです。(このほか周知のごとく大気栄養の二要素があります)

すでに手術を受けられました方も、又二日から手術を受けられます方は、尚更のこと、安静のいかに必要か、その安静によつて予後が決定されるということを胸に刻んでおいて下さい。そして科学の勝利を知性による行動によつて、自己のものにしませう。(横浜市 木全 見光)



新 路

49病之
信尾
尾長
尾長
尾長

原稿募集

さやから病院に三ノスオオ四もが
出ました皆又の産を求めてあ
ります、何卒御投書下さい。

読者の組織を作りませう

会費は月十円ぐらいで

入院患者・退院患者 外來の皆さん

結核をとおして下さるばれてはいる私に
織本病院をとおして下さるばれてはいる私
たち、その私たちの病床をなぐさめ、私
たちが言葉をい、かわす唯一とつもの
としてまけた「新路」をほぐぐみ、「新
路」を中心とした有血なぐわだてをす、
のるために次のようなことを掲唱してい
と思ひます。

新路を発展させてゆくためには、オ一
に読者の組織をシツカリかためる必要が
あります。そのために会を作り、新路を
その会の機関紙とします。会は機関紙を
出すばかりでなく、結核患者の衣食につ
いての相談をうけたり、結核や胃腸につ
いての知識をひろめたり、研究したりす
るための座談会、講演会をします。また
自宅を食者するための自定訪問もこの会の

仕事としてやつてもらいます。

次にこれらの事業を推進するために
会員になつて下さる方から最小限の
会費をいたゞき、これを資金にあてます
。会費は月十円ぐらいとし、できる方
には半年なり一年なりの分を納納して
いたゞきます。

このような提唱を皆さんにうけ、



の流氷弾に当つて死亡した
少女があつた。当院で手当
か出来なかつたのは何とし

ても残念だつたが、その産乳が警察学
校の流氷弾であつたかどうか、ついに
公表されなかつたようである。

◇……国電が榎木所で大変な事故をお
こし、百名以上の人命が失われた。こ
れについては、国鉄の態度が問題なるもの

ていた、けいけいは、いかに、賛成者
は、どし、ノ、御申出で下さい。(事務室
児島太郎)

申請どおり通る

民生のバストマイ

生活保護法でマイシン・バスを使用す
る場合は、その患者の至週と必要な理
由を書いて、あらかじめの中野区医師審
査委員会に提出し、承認をうけてから
でないとい使えません。当病院で四月十
五日までに申請した中村・野沢・今井
・小林四氏の分は十七日承認をえまし
た。その後一ヶ月間も審査委員会を
まつておられ、又展所に交渉したとこ
が發表されたが、新聞によると死亡者
に對する社葬料が二万円だといふ話。

◇……人命はど算、ものがないうとい
うのに、これほど生命が安っぽく取り扱
われた例は少いだらう。先の少女も百
名の事故死者も近親者にとつては数十
万円、数百万円資金にも値えらぬ大
切な存在である。人の命が粗末に扱
われるのは社会に何があるからであ
る。結核が救ふれない所以でもある。

入院患者 退院患者 外來患者
結核患者 一般患者
入院待機患者

は、松尾・鏡岡三氏の申請をその
まゝ全部承認しました。は、さんはスト
マイ・バスの併用患者で、この分にと
かなり早く手術に入れる予定です。

人事任 来

看護婦の小林淑乃君、結婚のため退
職、後任に増田ハルミ君(日本病院
)が勤務します。どうぞよろしく。



活動の状況

報 在院患者数

病 院	定 員	結 核	一 般
月 始	二〇名	一〇名	
月 末	二〇名	五名	九名
手術施行数			
胸部成取術			一七名
急性穿孔性腹膜炎手術			一名
胃切除術(胃潰瘍)			二名
虫垂突起切除術			九名
外痔核切除術			一名
外來患者延数			
結核患者			九八名
一般患者			五四八名
入院待機患者数			六名

南原 政治の貧困を説く

日本医学会總會で

もう大分古い二下スになつたが、去る四月一日ひらかれた日本医学会で南原 東大総長が熱烈な政府改選の演説を二席アツて、結核患者のため大いにたつたといふ話。但し、その内容はついにどの新聞にも報道されなかつたよ

× ×

当日の南会式には天皇陛下の出席とあつて約一万の有名無名の医師が参集した。陛下の挨拶と天野文相の首相祝辞代讀があつて聖通り式がすゝ。最後

に例の白髪をしていて南原総長が演壇に立ち、つぎの如き祝辞を送つた。
「私は日本の医学の水準が世界的なものであり、これが一重に諸君の医学にたゞさわる人々の並々ならぬ努力の結果であることと思ひ、まことに心強く感ずるものであります。しかししたつた一つ誠に遺憾に思うことは、それにもかゝらず日本人の罹病率・死亡率がまた世界一だということであり、また

四才山 ○危言予防
ばなし) 今後、
国連の最後部に消防自
動車を一輛増結いたし
ます。 如賀山總長

○入院 受付
—あの、胸がお患
いんですか？
—いや、カラダは

この通りピンピンです
—？ じゃどこがお
悪いんですか
—たゞ、フィルムがい
つも悪いといわれるも
んですから、え

○の病は別除()
の糸()
スリッパ二枚お買上げ
きに、サル又()
けす

ります。眞理探求に進まれ、医学の徒
女。文化国家のこの現状を見落し
てはなりません。美辞麗句の祝辞で現
在の最いかくす者こそ曲學阿世の徒で
はありませぬか。諸君、勇氣と潔信と
もつて進んで下さい。と。
天皇・文相との外出席した後人連中
の心境やいかに？

大切な輸血量

副院長記

この病院でやつている出血量の計り方
は、ガーゼ一枚の重さをミリグラムと
して、血のついたガーゼの全重量から
ガーゼの重さを引いて計つています。
第一次の成形がニロログラム前後、第

二次がニロログラム前後で、胸部成形
術の基準出血量(三〇〇から五〇〇)
を下回つています。これは手術時間が
オ一次四十五分、オ二次三十分とい
う短時間のためで、一時間半もかゝると
出血量は四〇〇グラム近くなるわけ
です。

○ 大出血と... じんも都府和と思
います。アメリカでは成形術に一
五〇〇グラムぐらゐの輸血をやりま
す。日本の国立養育所では大体殆んど輸
血をやりません。これは輸血をする操
作の複雑さと、健康・民生に対する輸
血料請求の困難と、一般的にいつて輸
血に對する関心の薄さが原因してあり
ます。私は前から大出血輸血を望んでい

ました。が、主眼的な原因でまた十二分
には実施されていへせん。それでは
血では出血量の二倍は輸血するとこ
まで上つてきたわけでは
検査をみると、術後十日でザリ價は
少しも下らず、むしろ上つてい
る。若さんは氣付くでしょう
肺の手術は胃腸の手術よりも、もつと
もつと血が必要なのです。手術で失
た血液を補うということだけでなく、
重要な肺の機能を補つてゆくとい
う。この手術に對しては、出血量を
に超える輸血量が大きく必要に役立
てゆくのです。



新しい検査法 シリーズ No. 11 気管枝鏡 検査について

レントゲン写真
で何等異常が
ないのに拘らず
血痰が出るとか
或は喀痰中結核
菌陽性であつて
その原因が不
明のため、医師反
び患者を悩ませて

きた胸部検査があります。

それは気管・気管枝の結核であつて、

従来は全く診断する方法がなかつたので
すが、この言葉を解決したのが気管枝鏡
検査です。

アメリカにおいては十数年前から行わ
れておりましたが、わが国においてはよ
うやくこの数年さかんに実施されるよう
になつてきました。

止

速のこだけでも、すばらしく意味
のある検査法なのですが、その他肺
結核があつて、その合併症としての結核
性気管・気管枝炎（以下結核性気管支炎と記す）
を診断したいとき、或は手術をうける前
の検査等にも利用価値があります。

たとえ以前は肺結核のほかに喘息が
あると考へられていた人の中に、實際は

喘息でなくて結核がその原因であつ
たというようなことが、検査の結果判
明した場合が少くありません。

又手術をしたけれども血痰が出るとか
菌が陰性にならないとか、或は気管の
辺でゼー／＼いう音がするとかいう場
合に、手術をうけた肺病巣のほかに結
核がその原因だつた人があります。

のほか、結核があつたために、
手術後チューブをおこして悪化し
た人もあります。

従つて以前の手術失敗例中にはこの
疾患が重要な原因として改えられます
ので、現在は手術前に気管枝鏡検査を
するようになってきました。そして検
査の結果、強い変化があつたら手術前
に治療してから手術をします。中等度
の変化なら化学療法を施しながら手術
をします。軽い変化の場合はそのまゝ
おこなつていきます。

以上ごく簡単に記載しましたが、私
達はこれらの事を数年来「ワロワロ」以
上の患者さんに検査をして、確めてき
ました。

最後に、すぐれた技術を以てすれば、
この検査法は、私ほど苦しいものでは

ありませんが、咳や痰の多い人とか、
過敏性の方にはある程度の苦痛を伴い
ますが、この検査法の重要性を認識さ
れて検査をうけられるよう希望いたし
ます。（筆者は国立肺病院レントゲ
ン科医長、神津克己先生、毎週当院で
この検査を施行されていきます）

患者だより 2



成形オニ星の
思ひ出

肺結核。拭いされぬこの烙印をおさ
たのは一昨年の夏、受けたその衝動は
独り私だけか味わつた鬱鬱さではある
まいと思ふ。一ヶ月後、当時まだ結核
外科の端にあつた織本医院で成形適應
症と診断され、すぐに若先生の執刀で
手術してもらつたことになつた。

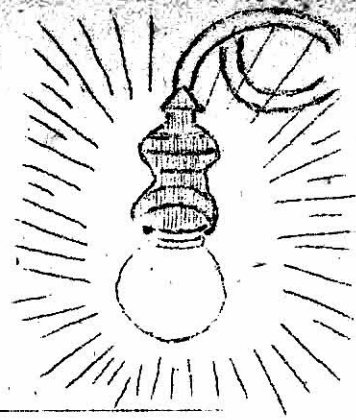
怖いものを知らぬまゝに、生まれては
じめて手術台に横たわり、藤のような
気持であつたり眺めた天井の蛍光灯の
柔らかな光に「大丈夫だ、何でもない
落ちつけ、お前は助かるんだ」とい
う力強い言葉を聞き、苦痛の中からお

は自分のオニの誕生を念じた。
器具の触れあう音、力強い先生の声、
時に津浪の如く押しよせる激痛、頬を
伝へつて落ち、掌にもじつとりと握る
熱い汗、尖に私の斗病生活はこの瞬間
にはじまつた。先生の白衣に支えどは
恥とんでいる血潮、名も知らぬ大きな
杖……そんなものがけだるい私の眼
にうつつた。

それから一年半、結核に対し全く無効
だつた私も、人一倍の努力と忍耐で今
では歩行方法を終えて作業方法に入
らうとし、この夏には手術所の内から社
会に送り出されることろまできた。織
本医院における成形第一号たる人はも
う元気で社会に出ていつてゐる。オニ
例たる私が、見違えるほど拡充した今
の病院の廊下に立つ時、今昔の感のわ
いてくるのをどうすることも出来な
い。卒業した学校にたずねてくるよう
な気持で、私はこのセピア色の建物を眺
めている。

入院中の皆さん、どうぞ一日も早く旧
に備する健康をとりもどして、手紙
づさえて結核撲滅のためにた、かあ
ではありませんか（台東区・近藤昌彦）

胸部外科の進歩



副院長 織本正慶

胸部外科は、日に日に進んでいく。毎年一回秋の胸部外科学会に出席するといつも私は一種の興奮にとらはれて武者ぶるいを禁じ得ない。二年前に驚異の眼をもつて迎えられた肺切除は現在はどうか、私の如き若輩が八月からたつた四ヶ月の間に三例を為し終えて経過はすべて良好であり、来年早々三人の肺切除患者が入院を待機している。

肺切除術が始められた時には、半数以上の人々が六ヶ月後には死した。手術時向は十時向を越えていた。

出血量四〇〇〇、手術時間は二時間五十分である。さうかに肺切除術は外科的胃腸の域を脱して安全に、空洞根治術として登場した。記である。また肺切除は危険な手術と考へられていた所もある。四五年前所でも行はれていく所は、多くはない、然し、今この織本病院に於ては、いまは、危険なものではなく、結核との戦いにこの手術が強力な武器となつた。いわば、これが「手術の社会化」である。さうして私は来年一九五二年は、肺切除と、これを一步すすめた。肺切除の年として大いに張切っている訳である。

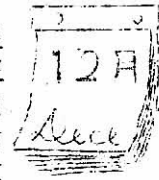
《 医費に国家補助がない限り、これだけの計画も絵にかいた餅になりません、あくまでも社会保障制度確立の為に、手をこまねては、いけません。》

検査をひとつとしときい

織本病院では、いま塗抹と培養の検査をやつていきます。培養はほとんど新しいフロン器を買いました。培地も、いよいよ、その岡倉式培地を、川崎培地に改め、検査部にも手届の検査員を揃えました。四五十分の培養能力があります。皆さんの中に一度又は二度確実に痰をもつていらつしやる方が何人いるでせうか、皆さんは自分の病気が治つてゆくかどうか、に深い関心をもつていらつしやると思ひます。良くなつてゆくかどうかを判断する材料として検査の結果がとんたんに入るパイセンテージをじめていくかは、いまさらいうまでもないことと思ひます。

なお検査部からの御注文は

病院月報



滅菌試験管は必ずもどすこと、試験管に名前を付けて来ること、必ず交付するもらつた伝票を返して出すことなどです。

手術施行数	在院患者数	月末
肺葉切除術	三三名	三三名
胸廓成形術	二五例	三三名
胃切除術	三例	三三名
虫様突起切除術	二例	三三名
腸閉塞切除術	一例	三三名
脾臓切除術	一例	三三名
空腸切除術	一例	三三名
外来患者延数	五七〇名	三三名
一般患者	一四〇名	三三名
結核患者	二五名	三三名
入院待機患者		三三名

入院息出の日

加藤 亀吉

「君が先きに、やつてきなよ、君の様子でだいたいわかるから」。

「あんた先きに切つてこいよ、あんまり痛いようなら僕は家へ逃げて帰るから」。

「あすの手術日に見学に行こうか」。

「とても、とても」。

新入院の患者はいくちの無いことを元気で去つてい

「〇〇さん便を取つてよ」。

「何に云つてるのよ、体が大きくせに自分でいつてらつしやいよ」。

「左ちに手術後の練習に床の中でやうてゐるんだ」。

「あきれた人ネ」。

に其の手にすがりたい気持ちになる。背中が強い力でおしつけられる感じだ、夢中のうちに終る。

あすはオ二次の手術といひにまた看護婦さんに「〇〇さんメスを良くといでおいて下さい私の骨は、たいそうかたいそうですから」とまじめにいつた自分がおかしかつた。

オ二次の手術は二十五分でOK病室に運ばれてグッリ、ア、これだよかつた。ア、これで良かった。寝台に背中を吸ひ付けての二週間はずかづか、術後初めてベッドにすわての朝食にフト外をみれば一本あるヒマラヤ杉の若木は、又じりの若葉に五月の朝日をうけて、キラキラ光つていゝ。隣室の盲腸手術の患者さんは今日には、トンコトンコを声高らかに歌つていゝ、明るい朝であつた。

銃の巻



時は震災の翌年、年の東京市復興の本の香薫る大正十三年の秋、鉄砲と自動車は西立しなげれば、とがなるとか理々ツをつけ買つたのがモータースコーレト英國製の中古車、当時四タタはほた無い時代、早速運転手の免許を取りにゆく。試験場は京王電車の神宮駅のそばの電車通り。漸くパスして選手マンになりあぶない運転を獵友二人と獵犬の子を三疋のせて山梨奥四方津の山に向つて出発した。

夜中の三時八玉子を過ぎた頃、後に乗つていゝ友人が何だか変だから車をとめてくれといふので、とめたところ急に臭気ブンブン、友人の足はぬれていゝ。街燈の光でよくみるとこれ付したりワン君三足自動車に酔

つて大小便、嘔吐の大庭、友人の足はスツカリこねられて泣きそうな顔。おかしいやら気の毒やら、運よくとめたところは魚屋の前で店の前にタイルの水槽があり水は満々として手桶までそなえてある。有難しとばかりに足を洗い自動車洗いで犬を洗つて漸く山に向つて走り出したウンがついたからとれるだらうと買おしみをいゝながら小仏峠を越え、五時目的地に到着直に山に入つた。サツソウとし

「しかし僕は本にとまつてゐる鳥ならば霰弾だからあたるが、飛んでる鳥は決してあたらぬこと確実の一年生、山鳥や雉がとびだす、トン、トンシューです、これは二歳銃で二発、鳥はシューととんでいつてしまふ、いくつ出ても同じです、留トントンシュー、獵師曰く「先生、いまそうに又えてへたぞね」

「僕は今日ウンがつかないよ」

「嗚呼のような本当の話この日の獲物は本にとまつていた山バト」

捕つた

自宅療養者の組織について

去る十一月四日行はれた織

本病院での懇談会で、病院

側から自宅療養者の組織化

という問題が提案され、討

議された。かねてから私も

患者としてその必要性を感

じていたが、病人にあり勝

なズボラと臆怖さから、何

れ誰か提案するだらうと

あなた任せにしていた。が

こう云ふ組織はなるべく早

得たい。

オ一に、こゝでいう自宅

療養者は、織本病院で、胸

廓成形術や気胸、気腹、その

他、治療を受けた結核患者に

一定限定する。

オ二に、組織の構想とし

ては——自宅療養者にはい

くつかの行き方があるが——

我々の場合、私立織本病

院とその患者とが協力し、

胃の皆さんは出来るだけ正
しい医師及び業務を施行し
て、患者や社会の要望に応
えようと努めるのが、本来
の建前であり理想であり、

そして織本病院は、そうあ
ることを企願とし一歩々々
改善の道をきり拓きしてい
る病院である。と我々患者

は理解している。従つて立
場は異なるが、患者と病院の
願いと目的には大体共通し

たものが見られるから、そ
の善意と努力の一致によつ

て両者の利益になるような
組織をつくることは、充分

可能であると考へられる。な
お、官公立の療養所の場合
には、立場や条件が違つた
ので組織の構想も自づから
異つてこよう。一方我々患
者及び階層から成立してい

るが、結核という光更な敵の
攻撃による被害者であること
は、我々は一一致してゐる。そ

故に我々は、いたたけ、助け
し合つて、闘い抜いてゆく。
いはゞ戦友なのである。この
困難な斗いを有難にすも、

に、我々が身体を委せた織本
病院といふ城塞を中心にな
が結果することば、最も手
な道であり、また合理的な方

法であると思ふ。オ三に、以上の構想によつて

組織が、差当り自ずから生
ずる。事業は色々考へるが、二、
三をあげてみると、その第一
会等を用いて、自衛上、生活

上の知識経験や意見の交換、
四、また、自衛上、生活上の
生を講師として、座談会等に
必要になつてくる。また、この病院では成り

や人工氣胸の施行が多いから時采アフターケア(後保護)施設をどうしてつくるかという大きな仕事も当然生じてくる。更に組織全体の活動仕事との反映であり組織のベルト(紐帯)の役割をなす機関誌の発行の必要はいうまでもない

第四に以上の仕事を執行し運営してゆくために幹事なり委員なりを数名選ぶ。この役員は患者、病院双方から選出されることが望ましい。第五に、右の組織(念)を運営してゆくための経費は、委員の会費及び寄附金で賄ふことが原則であるが、將來、会に事業部を設けて、その収益により財政の基礎を強化することも予想されよう。

以上で自宅療養者の組織についての要領をあらましお伝えしたが、当日懇談会で、病院側と患者側より、数名づつ、設立準備委員が選出されたから設立の日も近いことであらう。

× ×

戸沢光治良氏が最近スイスのサナトリウムを二十数年振りまかれたが、帰国後の作品。再びデルジヨアの日に(文芸春秋十一月号)の中に登場してくるかつての彼の主治医——セナオになる老博士——の印象的な言葉として次に引用して擬筆したい——君は毛前という言葉で博士はいつたが結核になつて不幸だと思つてゐるのだらう。しかし、人間はみな何かにつかまへられて、そこでもがいて努力するのが

作業療法の一歩

人生だよ、結核にかまつたのは、君だけではなくて私もそうだ。私が采たのは若くて、二年の約束だったのに、一生涯つかまつて動きがとれなかつたやうなものだね。この山に、一生をここに埋めてしまつたもの……

(新宿区 久納 武文)

織本病院で二回にわたる手術をうけたのは、ついこの間のことのように思えるが早いもので、もうまる一年半になる。裏の畑道を青い顔して一日百メートル、二百メートルと這うように歩きたした私が、今はなんと皆さんの援助で作業療法の実験をするようになった。

今、皆さんが手にとつて読んでいるこの「新路」第五号こそ、戸友板谷君がかり版をきり、私が刷りあげた作業療法第一号というわけ。まあ下手なところはそのつもりで少しは我慢して下さい。

出采上つた印刷物は「きたない」の「まづい」と、病院の事務員になんくせつけられ、今のところ一枚一回の報酬に値切られてはいます。『今にみておれ』の気がいって運賃、二時間の絶対安静が終えらるゝ、ガバとはねおき、私はさうとして病院に出勤し、最高三時間の労働をし、へとになつてわが家へたどりつきます。あゝ、作業療法つらきかな。(田島文市)

(この方の前身はお巡さんです。——編集部)

女の人をもつと
積極的に!!



十一月四日に開かれました懇談会に女の人の出席は、氣胸の方とも僅か三名しかございませんでした。このやうな会合では全般的に婦人の出席率は悪いものであります。私達は同じ養目的を保持しているのですから、このように一堂に会した場合は、同じ体験者からでなければ、聞くことのできない各人の異なった体験談や心の機微にふれたお話も聞くことが、できるのではないでせうか。又このやうな会合で得ることの出来る新しい知識は、今後の養育のよりよい指針となること、思います。

女の人数に未婚者の場合私達のようになハンディキヤ

ツブを持つことは大きな人生に影響するだけに心の負担も重いこと、思いますが、それだけにお互ひになぐさめ合ひ、励まし合つて行けたらどんなにか心強いことございませう。私自身、これからの人生を生き抜く為には、先づ積極的に……と、思い敢えて出席致しました。

このたびは織本先生ならびに病院の方々の御熱心の賜として、退院患者のサークルも結成される運びになりましたので、このやうな会合も繁く開かれること、思います。今の世代に生きるものとして、結婚を克服する為にも女の方々のより多くの御出席をお願ひ致します。

患者の
声

何とかならない
ものでしょうか

氣胸患者の立場

土曜日の午后は、毎週氣胸の外采患者で、狭い病院の廊下は一杯です。そのほか外傷とか救急車とか物凄いなどつぷりに、至つて氣の弱い氣胸の人達は、少くもつてます。というわけ

で一言ニ言文句を並べねばなりません。第一に待つ時間が長いといふことが、二番の欠点です。火の

気もない廊下にながぐまり従業員の方々のバタバタかけるスリッパのほこりを、二―三時間吸はせられると、何の因果でこんな思いをしなげればならないのかと思ふしくなります。

オニに氣管枝鏡を一緒にやつてるので廊下が大へん暗いのです。手術室には暗幕でもかけて、廊下は明るくして頂きたい、勿論、

スト―ブぐらいかこんで、いつでも患者同志でだんらんのもてる雰圍氣が出来たら申分ありませんが……

オニに、従つて三ヶ月に一度ぐらいは先生に出席して頂いて、養育指導とか、胸部医学のお話を伺える会合も開きたいと思ひます。

オニに、担当医を小やして毎週二人ぐらいで氣胸して頂ければ、能率よくいくのでは、ないでしょうか。出采には私費患者、健保家族患者の自己負担額について何とかが軽減して下さると、お返しが、苦しいなからすから大助かりなんです。

この文句を並べても決して私は、この病院の氣胸をけなしているわけではありませぬ。治療技術の上では最高のもの、と信じております。たまたま退院患者サークル結成の席上、氣胸患者を代表して文句を云ふといふ、皆さんの御意向、書いておたもので、と、オニ、よろしく

（戸根典子）

井上明江

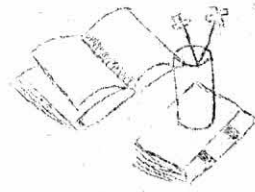
いつも患者さんの声を集めるのに一番苦労しています。どうぞ進んでお送り下さい。掲載分には法謝贈呈り。

書評

芥沢光治良著

再びブルジョアの日に

を讀んで



こじまとしひろ

文芸春秋十一月号に芥沢光治良氏が「再びブルジョアの日に」という紀行を書いている。ローザンヌのペン大会に出席したとき、彼が二十数年前に結核の療養生活を送ったスイスのサナトリウムをおとすれた話である。

年前そのままでの姿のレーザの駅をおりてみるとやはりそこは「マギーの家」がある。店に立寄ると肥つて活潑な女主人が驚きの声をあげて迎えた。当時結核で療養していた妹娘のテレーズである。同じ療養者であつたジヤンと結婚して今は健康で働いている。しかし彼等は幸運な小教者であつた。当時この結核都市に療養していた人達の大部分は、いまではこの世の人でない。苦しい厳格な療養規律も多くの人を救いけしなかつた。けれど、今ではすべてがらがつていた。当時の主治医であつた下博士は、両腕を大きくひろげ「息子よ生きていたのか」と彼を腕にかかへて喜ぶがらこう語つた。

「たいした進歩だ。外科手術も新薬も進んだ。いまでは死に至るなど考へたことではないよ。結核で死ぬなんて考へないから。これほど治りやすい病気はないといううが私の結論だ。この結核都市にはVという老博士が大学サナトリウムを経営している。そこで結核におかされた学生が療養しながら勉強し、どの学部も試験をもうけて卒業

婦長の巻

上 啓 筆 一
時々こわい婦長さんの顔を憶い出します。そういふ手紙がくる。退院患者からである。それは、まずこわさを憶い出す

なつかしい神戸婦長をおもいおこしたとき、斤にがしかの叱られたことが心に浮ぶといういふ事がある。神戸さんは、いつも患者が早く起きすぎはしないか、病状に悪いことをしてはいないかと親身におもつて病室を

でさる。療養生活が終つたときは大学も卒業できずて就職できるといふ仕組である。図書室、実験室講堂があり、通信教授と各大学からの出張教授を基にしている。V博士は全財産と全家族をこの仕事に打ちこんでいるのであつた。それを支えていけるのは、V博士のヒュマニテイである。

又まわる。たまたま病室十日目に、ふらふら歩いていたりする患者が居るとすると、まあ、何とてんの。とどなり来るのである。

直情にして、病室の患者への愛情と仕事への熱情が広い社会的視野、政治的な行動力に支えられていゝから、織本病室の明るく空気の源泉となつていゝ。誰ですか「われらが下など」といふのは、

新
路
NO. 6
1952
2月

東京都中野区
新井町549
織本外科病院
加藤 吉

『患者サークル親和会誕生』

盛会だった創立總會

待望の患者サークルの創立總會は、織本病院創立三十一周年記念日に当る昭和二十七年二月十五日、病院廊下の間に於て開催された。前日の冷雨もすつかりや又患者サークルの新しい誕生を祝うような素晴らしい晴天に恵まれ、出席者も五六名を得た。

創立總會開催までの経過報告があつた。ついで、会則草案の審議に入り、出席者の熱意の籠つた討議が行はれ、会員の資格、役員の仕事、總會の

催の回数等を修正、議決した。(詳細は別紙会則を参照) ついで、会則に従つて、役員を選出するとともに、出席者多数の賛成によつて、会の名称を「親和会」と決定。ここに患者サークルの親和会は正式に結成され、出席者一同会の発展のために努力することを誓ひ、午後三時、盛会裡に閉会した。

命を取りもどす為にかみ闘かつて来たのであります。しかも無風置安静の又の予友においては、さらにそれらの人以上の勇氣と決心を以て闘病にあたらなければならぬのであります。幸い私達には織本病院の先生と職員の方々の熱心なる治療と看護指導により前途に光明を望むことが出来るのであります。しかし希望の峰は路遠く今後幾多の障害が横たわつて居ることと思ひます。それだけに私達は看護者の組織たる親和会の運営と、そのありかたに大いなる意義と期待があることと思ひます。私達はおたがいに手をかたく握り慰め合い最後の目的たる全快へ、社会への復帰へ、一歩前進致したく思ひます。やがて皆様一同と共に晴れのお床上げの日の日も早やからん事を祈りてやまません。

会長就任の言葉

会長 加藤 龜 七

午前十一時、児島さんの麻会の辞に続いて、織本副院長が病院三十一年間の努力の歴史を語るとともに、「結核を無くするためには眞実に平和を守つて行かねばならない」とことを強調された。次に、神戸婦長から

かむてよりの懸案でありました。皆様の努力によりまして去る一月十五日織本病院に於て親和会の名のもとに結成致しました。はからずも私、会長に選ばれ、お受け致しました。勿論私、其の任ではありませんが幸い皆様の御指導により、大任をはたし度く存じ

て居ります。永い間の闘病生活は精神的にも物質的にも私達は疲れてしまひました。しかし私達はその身に鞭打ちつつ全快の日まで闘病の生活を続けなければなりません。或る者は骨を切り、或る人は氣胸に只一途に新しい生

命を取りもどす為にかみ闘かつて来たのであります。しかも無風置安静の又の予友においては、さらにそれらの人以上の勇氣と決心を以て闘病にあたらなければならぬのであります。幸い私達には織本病院の先生と職員の方々の熱心なる治療と看護指導により前途に光明を望むことが出来るのであります。しかし希望の峰は路遠く今後幾多の障害が横たわつて居ることと思ひます。それだけに私達は看護者の組織たる親和会の運営と、そのありかたに大いなる意義と期待があることと思ひます。私達はおたがいに手をかたく握り慰め合い最後の目的たる全快へ、社会への復帰へ、一歩前進致したく思ひます。やがて皆様一同と共に晴れのお床上げの日の日も早やからん事を祈りてやまません。

「こころ」にも お燈明政策

予防法 健康保険 もんだい

一桌単価

医者もかすみを食って生きていくわけではない、というざりざりの要求から出発した健康保険診療費の値上げもんだいは、医師会幹部がすっかり政府にまるめこめられてわざか一割程度の基準額値上げで一応けりとなった。

政府の言い分では、保険料率（現行十分の六）を変えなくとも、ベラスアップでこの値上げの財源をまかなえる、というわけだが、現在でも二ヶ月ほど遅れていく医者への報酬支払は、国庫補助の大幅でこ入れがない限りまずノ、遅れるのではないかと憂慮され、健康保険組合の倒産 ↓

支払基金の破算 ↓ 医者の破産、という悪徳返をどこかで打ちきらない限り、この問題は解決しないわけである。この事情を百も承知の医師会幹部が、社会保険に對する国庫補助という医師会の大会決定について、なにもすることなく引きさがつてしまった。これから、幹部の首のすげかえをして、新しく対政府交渉をするこゝろにならう。

予防法 去年十二月から疑行された予防法は、今のところ、医師側への連絡不十分と、保健所の不備から、患者その他に大変迷惑をかけている。特に公費負担という看板は大変いが、内容がたつた

四項目の治し方認めていない。莫、そのうちでも、胸部外科手術は、手術料の半額負担をするだけで、入院料処置料は全くもんだいにされてい

二に、申請書についてやがたい書類を整えなければならぬ。普通以上二人七十日以上の収入がある申請書を窓口で追いかえられる始末。

医師の方もレントゲン写真を一ヶ月も貸出さなければならず、治すやうなわけに大きな支障をきたす。

第三に、健康の被保険者、被扶養者、医療患者がこの公費負担を申請しないと、通常の社会保険の支拂をしてもらえないという難点があり、しかも、これがすこしも知らされてい、保健所の係員に聞いてもわかっていない。

「これらは、今すぐもんだいになっているので、これから、このようになややつこ

しいことが続出することだらう。

戦没遺族に對してとつた政府のやり方が、この二つの法律の実施を通じて、同じ形で患者、医師におしつけられていくわけである。

(長尾 信之)

板

◇新路の原 募集します。題目は詩、歌

知

俳句、隨筆、感想文、小説、ルポルターシ

告

ユ何でも結構、枚数は二の原稿用紙二枚か三枚、あるいはも

のによつてはもつと長くてもよろしいです。新路を皆さんのものにしてゆくために、ふるつて応募して下さい。なお、掲載の分には感謝をさしあげます。

◇親相会の機関紙名を募集します。いまのところ従来どおり新路として発行しますが、良い名刺のあり次第変えま

もつと和やかに率直に!



創立総会は、
たしかに盛
会でした、
然し、四時

もいさか困苦しい会則審
議に追われてしまい、肝心
のコンダン会が出来なかつ
たのは実に残念でした。こ
のつぎからは、織本副院長
から作業療法の話を聞いた
り、お互いの生活生括の様
子を語り合ったりする楽し
いコンダン会をやりたいも
のです。
また、退院患者の診察日
(第一日曜日とか、第三火曜
日とか)の風にも一回の診
察日)を定めることも実行
したいことのひとつです。
日曜診日の日に遠くから出
掛けて来て、二時向も三時
向も、時には午後までも待
たされることは、手術後向

堀田 武 男

もない退院患者にとつては、
大きな苦痛です。診察日を
定めれば、たとえ待たされ
ても、退院患者ばかりです
から待たされている時向に
自然にコンダン会も刷催で
きます。
また、「新路」第五号で、気
胸患者の戸根さんが発言し
ているように、会員の治癒
費の軽減(二割引程度)も実
現したいです。病院として
も、会の発展を望むならば、
この程度のサービスは、す
るべきです。
私達患者には、病院に対す
る不満や要求を率直に云わ
すに、隣でゴソゴソ云う傾
向があります。もつと率直
に、この新路やコンダン会
を通じて、私達患者は、弁
言すべきです。そうしなけ
れば、私達の病気は、快く

ならないし、病院も発展する
ことば出来ないと思ひます。
もつと和やかに率直にやっ
て行きたいと思ひます。

夜の手術 あ盲腸



(盲腸) 境野静枝

御慈恵の先生からアツペ(虫
様突起炎、俗に盲腸炎の鯨)の
手術をして頂く礼と御頼女の
電話がありましてすぐに用意
にとりかかりました。
手術は院長と副院長、器械の
かかりは私でした。そばで御
紹介して下さった先生がみて
いらつしやいました。凡ての
準備が出来て手術部の消毒、
腰推麻酔がすまいよいよメス
を入れる時に、「時間をみて
今日はタイムしコードをつく
る。女の方だから脂肪が多く
て損だけれど」と先生がおつ

しやる。Sさんが時計をみ
るKさんが脈を見る。
院長と副院長とで手術をな
さるときは必ず副院長が院
長を助手にしてしまふ。
忽ちメスが入れられた。副
院長は血管を切つてとんど
ん手術を進めて行く。同髪
をいれず院長は止血して行
く血がグーゼーに少しつく
位で出血らしい出血けない
脂肪は相当厚い。腹膜を開
いて虫林突起をいっぱり出
して切取つた。
「何分かつたの?」
「五分です」
順序よく手術はすすむ。先
生方と看護婦の呼吸はびつ
たりあつてゐる。ベニシリ
ンを腹腔内に入れて腹腹筋
膜皮フを縫合せた。全部で
何分かつたか「時計を
見ているSさん」答へた。
「九分五十秒まあ十分ですわ
私は何となく心がまげさげ
してうれしかった。



先日御す
重にも御招待
状を賜りまし
て有難う御座
いました。私
体の方ほど極
順調ですが、無理をしない
程度に仕事をし居ります
衣食足りて礼節を知る
とが申す所ですが、現下
の社会状況ではややこしく
は身がつかれそうで、一日
一日と時間にしがみついて
功くのが精一はいの有様で
つい欠席を致し、御意見を
無にしたよう方次第です。
何卒お許し下さい。会の方
は盛大な宴会をこげた事と
思いいから祝福いたしませ
出来得ることなれば、小生
も会の一端に加わりたい
い所存致、御配慮下さい。私
幸甚の至りで御座います。
甚だ勝手ですが、御説び
々々御願ひまで、山崎三郎
(西徳吉)

通知並に「新路」を頂戴
致しました。振しく懐
かしく拝見致しました。一
諸に手続した田島さんや、
板谷さんが元気である様子
又、先生はじわお看護婦さん
の様子がしみんと
小生元気で居りま
す。送付には賛成
致します。今
月の新路を見
いので、購入の方
法をお知らせ下さ
い。鈴木由庭
(茨城茨島病院)

かき患者席欠会
らのおたより

全なる御發展をお祈り致しま
す。こちらは八百人の患者を
かかえた大巾帯に拘らず、未
だ肺切除も行われていませ
ので、織本病院の各展振りを
小生の入院当時に比して驚く
と共に羨望を禁じ得ません。
小生も元気です。先
生方も婦長さんにも
よろしくお伝え下さい。
瀬戸山克己
(埼玉予養所)

手紙誠に有難う
ございました。
是非お伺いしたい他
ですが、何しろ退院
後一ヶ月半位ですの
でお伺い出来ず残念
に思つて居ります。会の方は
お仲間に入れて戴きたいので
ございませうが会費の方は如何
致しましたら良いでしょうか
お陰様で私も風邪ひとつひか
ず順調のようございませう
で御安心下さいませ。皆さま

に宜しくお伝え下さい。
浅岡弥生(自宅予養)

退院患者のサークル結成
待望のニュースでした
残念ですが術後半年未満で
はまだ出席を自重したほう
が良いと存じます。よきス
タートを祈ります。
赤吉三光(自宅予養)

只 今総会の御通知頂き
まして有難うございま
した。出席したいけれど、
先程、私は伊那の谷に帰郷
致し静養を続けております
故残念ながら欠席致します
から何分よろしくお願ひ致
します。お陰様で帰郷後、
熱もなく咳、痰もすつかり
とまり順調に進んでいるよ
うなので喜んでおります。
小林岩男(自宅予養)





今回組織を礼す
選院者のサ
クル大変更義歩

るもの上と手をあげて賛成
致します。尚都合悪く、残
念にも出席出来ませんが入
会させて戴きます。今會は
何れお送り致します。何卒
よろしくお願ひ致します。

葛葉鶴雄(静風正)

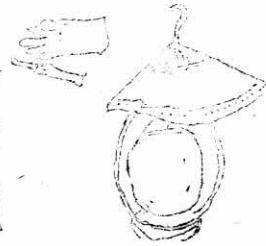
昨 年暮より風邪をひいて
寝て居りますので礼
させて戴きます。御盛會を
お祈り致します。

荒井清美(白安元義)

- 小原昇司 竹内経夫
- 岩 壁巖 村上昭三
- 鈴木利夫 石原貴美子
- 田中幸子 中村市郎
- 塚田佐茂弥 植村リツ
- 近藤昌次 浅海富太郎
- 大沼 涉 竹井忠代
- 宿谷しげ子 狭父静磨

松田正雄 十木良晴
島田庄之助 松本千代治
松宮孝二郎
以上の交友からもおたより
が有りました。

日 術 手



いよいよ手術日だ。用心し
て早朝から水一適も飲まな
い。朝会時にお茶一げい。
突然看護婦の境野さんが乗
て背中を出して下さいとい
い、手には光った西洋カミ
リ、背中の毛をそる。

十二時才一回ナルコボン注
射。一時才二回ナルコボ
ン注射。酒に酔った様な心
地がする。コラコラしなが
ら看護婦さんに案内され
手術室に行く。裸になり手
術台に上って横になる。覺

悟が出来た。秋葉さんが才三
回のナルコボンを注射する。
手術の先生や助手の方々が入
念に手を洗っている白いマス
クをかけ何だか物々しい。無
影燈が皎々と輝いている。脚
が太いバンドでしっかりとら
せられ、両手はしばられて手く
らさ抱かされる。頭から大き
い白い布がカバーされる。急に
暑くなる。もうどうにでもな
れと思った。無本先生に全身
を予けたのだ。目をこらさる。
いきなり首すじを太い針が入
る。背にメスが走る痛くない
けれどハッキリわかる。
ガスプスという音がする。止
血の器具の音がかチャかチャ
する。今度は電氣メスだ。焼
ゴテの様に暑くジーンと来た
心臓が止る様だ。これはたま
らぬ。死ぬかなと思つた。も
う止めてくれと口の中でつぶ
やき早く終わらないかと思つた。
いや、また始つたばかりだ。
骨にどうしたらしい。肉が

はがされる。ものすこ
く痛い。全身が浮くようだ
汗が眼の中に入る。骨を切
るゴリゴリという音が聞え
る。その中にかシヤツとい
ふ音が耳に大きくひびいた。
骨が切られたのである。し
かし案外痛くなかつた。下
にした右肩がものすごく痛
む。ウーン、と一回うな
る。もうすく終りですよ
我慢してわしと看護婦さん
がいう。だが手術はなかな
か終わらないそのうちにうと
うととしてくる。ふと目が
さめた。まだやつている。
ああ又電氣メスだ。心身の
のすくむ思い。又どうと
として無意識におちいり、
背を縫う時は少しもわから
なかつた。斯くして成形手
術は済んだ。所要時間約
一時三十分。忘れもしな
い昭和二十五年四月二十五
日午後のことです

(田 島 文 市)

予防法は次の 手続きで



予防法による
医費の公費
負担をうけられ
るものは

- 一、ストマイ四のグラム
 - 二、パス五のグラムまで
 - 三、氣胸又は氣腹
 - 四、胸部外科手術
- の四項目です。

届出に必要な書類は

- 一、公費負担申請書
- 二、診断書
- 三、家庭調査書
- 四、最近一ヶ月のレントゲン四切写真
- 五、給与証明書又は住民税の領収書

これをお持ち居住地の保健所に出示します。保健所で一月二回審査会をひらいて申

請の可否を決定します。健康保険の本人も家族もすべて、前記四項目の医師による検査と申請手続きをしない場合は、保険者又は保護費肩から医師に対する医師費の支払がなされないので

す。東京都の場合、予防法の適用をうけるのに一家の収入如何で、制限を設けてあります。一つにしても申請の手続きをしなければなりませんという立て前は同じです。

(新役員氏名)

- 会長 加藤龜吉
- 副会長 堀田武夫
- 幹事 長尾信之
- 福井武久男 大村健吉
- 戴石良知 井上明江
- 戸根典子 神戶千春
- 織本正慶 児島美都子

創立總會出席者

氏名 手術年月日

(順序不同)

江沢英夫	26年2月1日	田中菊芳	26	5	14
星野直子	25	8	10	26	5
長井弘	25	6	20	26	14
矢崎登夫	26	8	17	26	30
加藤龜吉	26	4	13	26	26
岡田昭二	25	7	20	26	1
小島実	26	5	3	26	6
中川良三	25	9	10	26	11
玉不英吉	25	3	1	26	8
鈴木幸代	24	8	9	26	11
大村健吉	25	5	13	26	7
笠原キミ子	26	2	13	26	11
野口有	25	10	9	26	11
眞田恒一	26	4	5	26	11
岡島 誠	25	10	13	26	11
持田操二	26	9	7	26	11
松下政子	24	12	28	26	11
内山清	26	2	8	26	11
福井武久男	26	5	14	26	11
小林 強	25	8	14	26	11
戴山力男	26	5	26	26	11
富田 茂	26	2	27	26	11
藤井 茂	26	2	不明	26	11
田中菊芳	26	5	14	26	11
田島文市	25	5	26	26	11
安藤君子	24	12	30	26	11
板谷忠雄	25	4	26	26	11
堀田武夫	26	2	1	26	11
久綱武立	26	2	6	26	11
篠原登夫	26	11	11	26	11
前田宮内	26	8	3	26	11
小島豊久	25	7	20	26	11
戴石良知	26	11	11	26	11
馬場多加子	26	7	11	26	11
安藤定義	26	8	13	26	11
上沢達夫	26	3	26	26	11
斎藤 保	不	3	26	26	11
小浜久八	氣	3	26	26	11
戸根典子	氣	3	26	26	11
乙部明子	氣	3	26	26	11
西郡美代子	氣	3	26	26	11
二病院側	胸	3	26	26	11
織本 院長	胸	3	26	26	11
織本副院長	胸	3	26	26	11
長尾 事務長	胸	3	26	26	11
神戶 婦長	胸	3	26	26	11
児島 医務長	胸	3	26	26	11

両側成形の思い出から



小林 強

「肺結核」と

有難くない宣告を受けて十日目成形がなんであるかを、も知らず手術台上に横たはり、以采泣きつ笑いつ床上で迎へた二度目の正月、数へで三年、満で一年六ヶ月漸く、養生生活も板について来た。想へば「昨年夏病氣のことなど夢にも知らず、海へ山へと無軌道振りを發揮して、寝汗と喀痰に気づき、診断を乞へば直に手術を要すると、翌日入院。八月十四日右側を「バツサリ」暑さと呼吸困難で文字通り無我夢中、美しい看護婦さんに気合をかけられ、勵まされ、或る時は意久地なし

と叱られて九月七日廿二次も終り流動食も今日限り、明日から待望の菜の飯といふ時、その慌ひも一瞬にして消え去り、翌日劇しい嘔吐に悩まされ一日置きの胃洗滌、あの太いゴム管はへて二十日間、その上毎朝十〇〇のリンゲル注射の強襲、ああ其の姿知る人ぞ知る。意外な副作用の障害で、正に生きた心知もなし。ゴム管の異名を頂戴せしもの頃のことである。十月十三日自動車のステップも二度三度、漸く乗込んで家へ帰ってからは、胃洗滌もして貰へぬといふ心の緊張からか、吐くこともなく、二月位で殆んど術前に回復した。然しX線の結果は左側の成形も免れず、二月末再び入院、今度け心の余裕も出来て、楽に処置を受けることができ一般状態も亦良く保ち得た気がします。

五月三日今日はかりはエンゲンの音も快るよく、一路我が家へ、この二回の経緯は、心の上にも大きな感傷をもちたしくれた。結果は然らずに待つ、時がその上を解決してくれるであらうから、術後四八キロと情ない体重の低下も、秋の声と共にぐんぐん上昇、十ヶ月家には五七キロと発病当時を上廻り、喀痰検査も今迄の紙培養(-)、回復街道を道草喰はないよう元気よくよちよち歩き続けています。一月一度の通院に電車にバスにもまれ立っ心もひとたびその扉を押せば誰が活けるか生き生きとした花は恰も織本病院の象徴の如く満面笑をたたえて我々を招じてくれる。おおこの花よ何時までも散ること勿れ。



上 啓 一
会長の巻
「ええ、いくら!!」
向うはちまきであらんやん運を相手
に青物の卸売をやつていた。それが一昨年の八月までの加藤さんだつた。おじいさんが肺病だからってんで息子に家の采手がなくつちや可哀そうですか。それどころか、年々もかえり又す成形をやつた。五十四才、織本病院の成形患者中の長老である。ひよきんで誠実、加藤さんのまわりではいつも皆が笑顔になる。夏うつになりがちなテーベ患者の気分をひきたてる親和会の会長として適役である。

もの分りの良さは會員の生活やその他の良い相談相手になつてくれるだらう。初代会長の健斗をいひる。

(児島)

迷信と結核



私の元務めていた病院の詩ですが、病院の方が悪いから退院させて

く札と申出た患者さんがありました。女学校出の分別のある奥さんでしたので、つっこんでよく尋ねてみました所、実は家人が此の病院は方位が悪いから病気が治らない、直に別の病院へ移らうと余りに申しますので、との事でした。御本人は気の毒そうな顔付で私に申しました。私は啞然としましたかその誤を正して色々と話しましたが、結局その後旬日で退院してしまいました。その後のことは知りません。之も同じ病院での話です。職員も然も病理試験室勤務の方でした。

胡寅大の空洞があり丁度成形手術の適応症だったので、再三の医者の方すめにも拘らず手術を拒否し遂に田舎に帰り、インキキ新橋を受け、それ札一頁震りで治そうと致しました。勿論御本人は、家人がすすめるからと弁解して居りましたがその中に次第に悪化し最早成形手術の適応どころか生命さへ危くなつて来ました。その頃になり漸く成形手術をしてくれと泣きつく許りに頼み込んで来ました。然し手遅れでした。化学療法は甲斐もなく今や全くの重症だとの事を大今前に聞きました。右の二例をよく分析してみますと、始めの場合に奥さん自身は方位など信じてなかつたようですが、奥さんという立場から家人の言に従はざるを得なかつたのでしようからまた責任は軽いとも言えまじやう。然し後の場合は御本人は元衛生曹長で常人より衛生

知識の持主なのに、成形より新橋を重視したためにこんな結果となつたのです。全くの自業自得と言うべきでしよう。右はぼんの僅かな実例ですが、古岡には沢山あることとす。このことから何をくみとればよいかはよくお分りのことと思ひます。結核は永い病気で、すから療養中に不安、迷いの生ずるのけ当然でしようが、飽く違も立派な医者の言を尊重し、下らぬ迷信は排すべきです。今日けえと筆をおきまじやう。(清瀬病院) 石原尚

詩

原爆詩集より



ちちをが老地、
けはせかえせ、
とじよりをかえせ
こどもをかえせ
わたしをかえせ
わたしにつながらる
にんげんをかえせ
にんげんの
にんげんのよの
あるかギリ
くすれぬへいわを
へいわをかえせ

をねがひ致します。
次号には、医者、患者、看護婦さんから原稿を書いて載いて、肺病特集を計画してあります。
暦の上では、春になりましたが、未だ餘寒のきびしい折からお互いに風邪を引かぬよう注意致しましょう。

編集後記(堀田生記)

会が誕生して、最初の新路がでまがりました。これからは毎月一回定期的に発行して行く予定ですが、会員の皆さまの協力なしには実現できません。是非、原稿や進路に対する御意見

新 路

昭和27年3月15日

NO 7...

中野区新井町549 織本外科病院

「親和会」 tel (38) 5006

発行者 加藤 龜 吉
責任者

会員の要望実現!!

- ◇ 毎月才三金曜日患者懇談会開催
- ◇ 自費 健保半額会員の医師費二割引

会員の皆さんに「親和会」に何を望みますか? 医師の査論調査を行いました。ところ、

「患者懇談会を定期的に開催せよ」

「自費、健保半額会員の医師費の軽減を望む」という二つの意見が多数ありましたので二月十七日の幹事会において議題として討議致しました。その結果、

患者懇談会は毎月才三金曜日午前九時に開催することになり、懇談会当日は、レントゲン、赤泥等の診療も実施することになりました。

また、自費、健保半額会員の医師費は下記の通り、二割引程度軽減されました。

の回答の中には

この二つの意見のほかに、
「アフターケアのホーパとして内転を幹旋せよ」

「レコードコンサート、短歌会、俳句会を用いて戴きたい」

「病院の玄関に外来患者の下駄箱を設けよ」

「培養の容器をおく場所をもつとまちゃんつくれ」

等多くの意見がありました。これらの意見も今後、実行して行く予定であります。

なお、株園誌名は、従来通り「新路」で良いという意見が多数でしたので、「新路」と決定しました。

(幹事会)

料 金 表

一般 会員

レントゲン内	六〇〇円	五〇〇円
遠視	一〇〇円	八〇円
培養検査	一六〇円	一三〇円
血 沉	五〇円	四〇円
胸	一五〇円	未定

(健保半額会員は会員料金の半額になります)

織本ズンドコ節

一、昔新井は無医村で
かすり姿のねえちゃんを
お腹痛けりやま言暢と
診断したそな大先生、ズンドコ

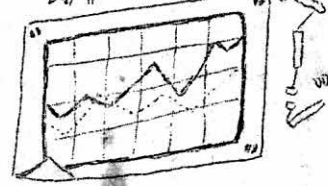
二、電氣メスに骨鉗子
痛いすかといいながら
ホリホリホキンと骨を折る
切捨御免の若先生、ズンドコ

三、いくら大きな巾着も
民生、保険じゃ月遅れ
月の払いや採血料
ほんとに私はなごう(長屋)なるズンドコ

四、掃長、掃長と云われるが
私もやつぱり女なの
春はあけぼの秋は月
誰にも云えない胸のうち、ズンドコ

註、昭和二十六年成形患者、鎌田茂さんの作詩です
「汽車の窓から手をにぎり」の替唄です。一月十五日当院病院記念日によせ、作って下さいました。

肺切除の術



医師の場合

昨年、夏、国立柳川診療所にフエイスタウンボジション（うつ伏せの体位）による肺切除の見学についてある。これは左上葉切除であったが七時四十分の手術であった。私は最初の手術の入り方と学会でもかなり活躍して居られる先生の慎重な手法を随分得るところをもつて見学していた。しかし麻酔によつて患者は興奮し手術はなかなか大変だった。切除がすん

だあと私は大分疲れたので手術場を出ると家族らしい人たちから「手術はもう終りましたか」と風が吹いて「ええもうすんですよ」と答へると二人で顔を見合はして「今日は早くてよかつたわ」と喜んでた。医局に入つ

苦闘一年

— 成形から肺摘へ —

副院長 織本正慶

賞えている。清瀬でもその頃は肺切除は小つう五時間から八時間の大手術で、やられる患者よりも医者の方が大分へばるという話をしあつたこともあつた。それから又すると胸部外科は日進月歩である。六ヶ月後の現

この業績は私を中心として織本病院従業員全体が手術患者の生物学的変態と社会的境遇をはつきりとつかんだ結果だと云えるであらう。ある時は万葉つきはてて腕の脈をとりながら患者と二人で夜明けだけを待た

大から私は肺切除術が学問的興味としてあつた時期にはこの病院で上りあげたことはなかつた。学会の先駆者達が築いた業績が確実な効果と安定した死亡率をもつたときに私は肺切除にいびんだ訣である。だからこの病院の成形術の成績と同じような結果が肺切除術に於ても現われつつある。

てそこにいる先生に「肺切除は大変ですね。ここではあの先生は何例位おやりになつたんですか」と聞くと多分三十五例位だらうと云うことだつた。手術時間ほどの位かと聞くと、「早いのもありますよ」とかくその日のうちに終るようになったんごすから大したものですよ」と云われたのを

「私か病院では八例の肺切除を経験したが手術時間はそれよりも最長が二時間四十分で最長は四時間五十分であつた。」

「私付先日の創立記念日に「学問的にも技術の上にも又経済的にも結核と闘う氣持をもちつけて来た」ということを回顧したが現在かくある病院の形と歎息した患者さんを見るにつけてあなたがい出し出がわきおこつてくる。

過去五つの例の成形術と其の死亡率、遠隔成績がサナトリウムに非ざる自宅療養でもきわめて良いということは何も偶然ではない。

そのついで次にいふものが肺切除であつた。この小さな私立病院が手がけた事は肺切除が学問的な興味のみでなく、試験でなく、手術が既に危険なものになつたことを意味する。これは肺切除が結核治療の大きな武器として登場したことで謂わば肺切除術の普及化であるといいたい。

最近伝えられるアメリクでの新薬発見は、わがわがのこの技術と更に一歩前進させるものとなりうでは皆さん、お元気で

では皆さん、お元気で

（集）特稿（肺）

看護婦

の場合

手術室から

神戸婦長



「先生、電燈の位置はこれ
で宜しいでしょうか？」

返事は無い。手術台の白布
の周りにのぞいている患者の

肌の上に、チンとゆつて
いる。一生懸命で質問がお

耳に入らないらしい。緊張
した空気が手術場にみなぎ

る。昨日は肺切除才一例の
ために特別講議があつた。

手術は手術をやる人だけが
いくら頑張つても成功する

ものではない。手術場さゆ
く一人々々が心を併せて協

力しなければ……そこで
血圧をはかる人、脈をみる

人、持続吸引をうけもつ人、
出血量をはかる人という小

……

うにこまかく仕目の分相を
定めて手術にのぞんだ。

乳房の下をななめにメス
が走る。明るい電燈の下に

赤い血が小さく出る。
白い脂肪の層がみえる。コ

ツフェル、糸と交互に伴わ
れて結さつがづつ、肋骨

切除を終りやがて用脚
「時間をはかつて」

声がかかる。心臓の鼓動が
きこえるようにはげしく返

うつている肺の実質、血管
気管としん重に結さつがづ

すめうれてゆく。成形とち
がつて進行が緩慢である。

時々ドイツ語で応援に乗り
来たN先生と副院長が言

葉をとりかわす時は静寂

そのものである。汗が小さい
ても小いても副院長の白い
ひたいに小き出る。ぶくぶ
くと泡だつている酸素吸入
器、血圧も好調、ブルスも
好調、出血量も思ひのほか
少い。
やがて切除、紫色の斑痕
におおわれた肺がとり出さ
れる。皆の目が一せいにそ

結婚は理解ある人と

肺病患者として―相沢芳子

母の猛烈な反対にあつて
勸当同様にして家を出て来

ました。手術をうける時
なつて母の顔を見た時の統

しさは忘れられません。死
んでもかまわないと誓結し

て来たものの手術の前日に
け家に連れていつてと泣い

てダダをこねるほど恐怖が
大きくなりました。手術が

済んだ今になつてみればあ

こにこそがれる。
思いがけなく順調に、無
事に終つた才一例、ほつと
肩の力がぬけて、安んどの吐息
がもれる。
手術は終つた。だが着ゴ
婦の仕事はこれからだ。頭
の中で次の仕るの準備を考
える。

うこと、その代り人の親切
を身にしまで感じました。
一人一人がままな私にいっ
も手厚く行届いた看護をし
て下さつた栗沼さん、附添
さん）には感謝の言葉もあ
りません。
将来の生活に対する自信
はまだはつきりしません。
結婚についてはのぼせるだ
けのはして、自体に自信がも
てるようになったら理解あ
る人となら結婚しても良い
と思つています。手術をう
ける直前の動機は子供をも
つたお母さんが子供のたわ
にとつて、ううなものではな
く自分自身が結核を克服し
てそれから幸福を見出した
いという気持ちからでした。
その才一段階として肺切除
という大きな手術をのりこ
えて、生きたいということに
自覚することは何んともい
えない喜びです。

〈肺摘特集〉

肺摘才一例に附添つて

肺切除才一例は

浅間弥生さんとい

う患者さんでした。

彼女はどうも気の大きい
と申しましょうか、さつぱ
りしたお嬢さんでした。彼
女のはがらかな性格は私を
も明るく看護に従事させて
くれました。

気管枝鏡も無事に済み、手
術は七月十四日にさまりま
した。ちようどお盆に入り
ました。「仏様と一詣わ
い」などと冗談をいいながら手
術台上りました。心の内
はどんなかしらと想うと本
当にお可哀想でした。当日
になりました。用意万端と
とのいいよいよ手術は始め
られました。手術をする先
生、血圧をはかる人、輸血

をする人、先生の汗をひき

とる人、仕事の連絡をする

人たちが皆でひとつになつ

て、しわがき一つなく手早

く仕事はすすめられてゆく。

弥生さんは麻酔がよくきい

ているのが静かに横たわつ

ている。やがて三の分近く

いよいよ目的の肺が切られ

る。皆の目がいつせいにそ

こに集中され、かたずを吞

んでいる間に静かに徐々に

切除された。明るい電燈の

下に黒っぽい血のふたまり

がせわしそうに動いている。

始めてまた生きている肺、

ただ感激と驚異あるのみ。

気管枝、血管の結ぶつも終

り再びもとのようにめい合

されてゆく。はじめに手術

室の中にも緊張したあとの

な、やかな空気が流孔手術

終つた。

肺切除あとのザウエルア

ルツフ氏の成形術も終り

膜神経切除術も終り四ヶ月

が夢のようにたつた。すつ

かり元気になつた彼女は、

「昨夜会社にお勤めにいっ

て倉庫に入つたら戸をしめ

られた夢をみたわ」とか、

「お嫁にいつて赤ちやんを

生んだ夢をみたのよなどと

すつかり前途に希望をとり

もとされたようでした。

退院されるときは本當

にお名残惜しかった。

今肺摘才一例を無事に済ま

して次々と新しい手術にと

りくまれてゆく。浅本先生に

声援をおくると同時に手

術後のバトンを受けついで

私も看護婦としての役目を

果したいと思ひます。
(附添婦 蓼沼ユキ)

短歌

この医師に命托して

手術日に附添わるべき身奇なく

さびしくとして時を待ちおり

この医師に命托して横たわる

よし死するとも悔は残さじ

鉄棒をにぎりしめれば「楽にして」

肩先がろく医師のたたき、ぬ

麻酔よりさめれば痛さおせい末ぬ

身のおきどころなきこの苦しむ

庫かれざるごとく知れども「おこして」と

又もせがみぬ 余り苦しく

(細谷 弘子)

訂正

才六号の新役員幹事氏名に、久納武文さんの
名前を落しました。久納さんは、また安野四度
なのですが、会則草案の起草者であり、御無理と
願つて幹事になって戴きました。

一斗病物語一

春の訪札

良医を得て



昭和二十五年九月二日、

織本病院の門を踏り、二十
五日、才一次手術を受けま
した。そして、私にも、や
つと、平和の春が戻つてき
ました。

発病と全時に通院気胸を
始めて二ヶ月半、毎週一回
五〇〇CCの気胸が出来る
ようになった時に、勤務先
の幹事で辻堂のN病院に入
院しました。ここで八日間
に三回も気胸をし、その一
回の量が六五〇CCという
仕方、更に気胸針で神経を

傷つけられて、肋膜炎併発
三九度八分の高熱、胸痛激
しく寝返りも出来ずに、じ
つと寐ているという有様にな
つてしまいました。

院長は温濕布をするから
人を呼んで呉れというので

妻を呼び、昼夜四時向おき
の濕布をしました。乳香子
を預けた妻が乳を張らせて
痛がりながらの半月、それ
でやつと痛もさらいいで来
ました。この間、病院では

サルブプロ五CCを四回注射
したのであつた。以上の次
才で三ヶ月間気胸を中止し
とうとう癒着してしまいま
した。
その当座は医者を怒り
又、残された方法は外科手

術のみと願われて、今後を
いかに送ろうかと毎夜寐も
やらす悩んでいました。

院長は「このまま固まる
といつて私の外科手術に対

する眞向に全然取りあつて
くれません。このような時

に院長から退院して働いて
も良いと云われた患者が國
立病院にて診察を受けて、
空洞を容見され、外科手術
をすすめられてきました。

このことが養上の疑問を
もつ多くの患者をして國立
病院に出かけさせ、その大
部分の者が方針の誤りを指
摘され帰つて来ました。
私もこれにならつて出かけ
ました。果して手術すべき
だと云われて帰つて来まし

た。

保健同人、健康会議等を
読み、結核を早く治すため
には、信賴出来る医師を得
ることだ」と知らず、札先づ
才一番に選びましたのは、
国立病院でしたが、入院待
機期間一年とのことです。

これでは待つてゐる間に
首を切られる運命になるや

も知れませんが、設備の整
つた病院、直ぐに入院出来

るところと深く考えて、
探し廻り、最適の病院を
知ることが出来ました。銀
兵はとて云い表すことが
出来ません、入院許可の葉
書を手にし、踊り上り、母

に「この子は、背中を切る
のがそんなに嫌しいのかね
と云われたものでした。
術後は順調な経過を辿り
たいとそれのみを願つて毎
日を送つて来ました。清瀬
病院の勤務と自宅病院の仕

事と、多分に多忙の中で、

私達のために休も間も借し
んで研究を続けられる織本
先生に執刀して戴いたため
すから、先生に報ゆるため
にもと思い、安静度の守れ
なかつた分をいかに補うか
を考えて、「睡眠不足が再発
の才一原因」より思いつき

まして「遅起きは三文の得
といふ自説をつくり、毎日

十時向睡眠主義を守つて参
りました、その力もあつか
つてが、現在まで検痰も培

養陰性です。
(不全 兎)

「この人生に」

若さ、うらはしき、

この人生に

生きることは

一つの行である

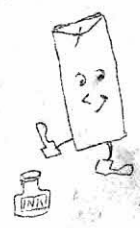
聞いてある

そして

才である。

再び恵まれました

健康に感謝す



(加藤 小 じ 廿四年手術)

初めて手に致しました新
路二月号により患者サーク
ルの創立總會の開催されま
したことを知り心かうおよ
ろび申上げます。お送り
下さいました新路を読んで
苦しかった日、悲しかった
時、過ぎにし日の廻いを新
たにいたしました。そして
成形をして良かったと私は
喜び一杯でございます。
再び恵まれた現在の健康を
に感謝するとともに御世話
になりました先生方に厚く
御礼申上げます。私がつく
づく思いましたことは成形
をなさいますにはまず手術

の対応症であること、第二
に外科手術に十分信頼ので
きる先生を選ばれたこと、第三
に手術後の安静を正しく守
ること、この三つが完全に
マツチされなければ成功を
望む手術は期待できないと

一筆啓上

院長の巻

とかく年をとると
若いもののやること
は見ていう札ない。
そしてこまごまと言話をや
く。織本病院の院長にはこ
れがない。二十代の目の息子や
副院長や息子の友人の事務
長に経営分端を任せて干渉
しない。これはできさうで
できないことだ。織本病院

さえ思われます。今殆ど新し
く手術をもうけになられる
方に幾分なりともの助言に
なれば幸いと存じます。

私の入院中附添で御世話
になりました松田君様さん
御元氣で御仕事におはげ又
のことと存じます。くれぐ
れもよろしく御伝え下さい。
あまりにも情しき花なり
木ばさ女を持つてしばし
思いまどえり

が二十代の若さと明るさを
もっているといわれるの
原因はこの辺にある。冗談
をとばしながら外来患者と
術后患者の処置をひきうけ
ているくらいで強明ともな
ると土曜日から日曜にかけて
狩獵に出かけるのを無上の
楽しみにしてている。新井町
に外科病院を開設してから
三十年余り、盲腸の神様と
噂される位の腕キキである。
(兒島記)

雨ニモカテズ

ホツタタテオ

雨ニモカテズ
風ニモカテズ
雲ニモ
夏ノ暑サニモカテヌ
弱イ体ヲ持テ
ワガママテ
イツモフシク怒ッテイル
總ガ深ク
アラユルコトラ
自分本位ニ考エ
医者ヤ家人ノ
云ウコトラ聞カズ
家ノ中ニイテモ安静ヲ守ヌ
東ニ面白イ映画ガアレバ
ノコノコ見ニ出掛ケ
西ニオイル二十個ノ
パチンコ屋ガアレバ
行ツテ煙草ヲ稼ギ
スパスバ喫イ
南ニカストリ雑誌ヲ
売ッテイレバ
買ッテキテ深夜マデ
読ムフケリ
北ニウマイ酒屋ガアレバ
行ツテカブク飲ミ
時々マンヂユヲ喰ベスキテ
腹ガ痛イ痛イト云ツテ
涙ヲ流シ
ツラヌ事デ友人ト口論シテ
四十度ノ熱ヲ出シ
オロオロアワテ
ミンナカラ
シューアラ起スノハ
アタリマエダト云ワレ
邪魔者扱イニサレ
妹ワレル
ソウイウモノニ
ワタシハ
ナリタクナイ



私は籠の鳥

— 氣胸患者として —

患者といつても氣胸患者は最も幸福な者の一人である。だから彼等のうちのあつる人は手術患者にこの上なく同情しながら昔の健康体へ帰れる日を辛棒強く待ちわびている。それはある程度十分現実的な期待であるのでこの楽観的な希望はともかく祝福されてよい。でももつと多くの氣胸患者は定期的な赤沈や痰痰検査の結果に冷や／＼しながら、万一悪化したら粗板のよう

な手術台の上に寝なければならぬかも知れぬ不安に戦々として、通常の健康な人生を羨望の眼で眺めているのではないだろうか。手術患者の激動的ではあるがしかし

一回限りのあつさりした医療の後に訪れる望まない所のじつくりした落付のある諦観に較べると、氣胸患者はそわ／＼した野心家かも知れない。自己の病状に樂觀的であればあるだけ健康体へのヤキモチが湧こうし、他方悲観的であればあるほど益々インウツな焦燥に襲われ易いというものだ。しかし患者をユウウツにさせるのはこのことだけではない。それは半年や一年ではなく、二年三年、場合によつては四年五年の長期に亘つて毎週、嫌でも病人であることを意識せられ

てしまふようにせつせと氣胸台の上に乗りねばならぬことである。その上更に氣胸療法によつて扱ふし易いあらゆる病体の本能変化、即ち慢性肋膜炎、膿胸、胃腸障害、自然氣胸等々に成し、常性不斷に氣を配らなければならぬ。樂觀論者でさへ飽きが来るといふもの、まして悲観的な患者などはいさ／＼が神経衰弱弱氣味になるのも尤もではないか。手術患者のように劇的で決定的な経験は少く、それだけにある程度自由な行動が許されている吾々が恰も籠から飛出したがる小鳥の如く自由な解放感にひたりた

いという誘惑にかられるのも、或いは又その籠の枠の思いもよらず強靱なのに驚いてすつかり消氣、最早餌をつつくことも氣乗り法な無氣力者になり勝ることとも一応は背けられるに違いない。

氣胸からの解放はとりもなはず結核からの解放の前進を意味する。その日、の焦燥と幻想が非人情な氣胸針との長い間のおつきあいを我慢もせしめ論めもせしめるのであるが、こゝでさう一度籠の鳥は考える。現代医療の水準が病氣の技術的治療、即ち健康体への完全な保障を保障していない以上、結核からの解放は所詮程度の問題であり吾々は一

生不自由ではないかと、即ち一種の不具である。不自由を常と思ふ」といふ訓へを嫌々ながらも脊を服膺しなければならぬ訳だ。しかしこう考えてみると私は余りに自分だけに同情しな

早春

(小浜 久八)

吐息もらした口つきにわかれしひとのしのはれぬ唇を厚くまきまきかがみかがみだうつる口つきにわかれしひとのしのはれぬ

生活相談

この度生活相談欄をもうけました、これは「養生生活」を続けるうえで皆さんが御困りのいろいろなこと、さらに御相談にたいようとするものです。担当は今回は幹事の久納武文氏にお願ひしました。問題は所持ちの方は親和会生活相談欄宛に書面で御出し下さい。なお、誌上発表の場合匿名にします。

問

私は昭和二十五年五月末に織本病院で成形手術をして現在安静度六度の自宅看護をしている者です。家庭は養父母及び妻と子供二人の都合六人暮らしですが、退院後半年あたりから養父母との折合が悪くなり、私は病人の立场上出来るだけ受身に成対するよう心掛けてはいるのですが、事毎に病人の安持を妨害するよくな無理解な言動が多くなり、果ては「どこかへ出てゆけ、病人の顔など見たくない」等の言葉迄まく

答

貴方は家庭において孤立無援の状態です。お話しの様子ですと、養父母とは一朝一夕には仲直りは望めそうもありませんし、頼みとする奥さんも両両親の考えに同調して貴方にとつて少くとも積極的な味方ではないようです。親御さんの態度よりもむしろ奥さんのこのような態度に私としては重大なものを感ずるのですが、この問題はまだまだ養の途中にある貴方としては解結を先へ延ばした方が賢明のように思ひます。

それで差し当りとするべき方法は、安静をオーとする「養生生活」と相容れない家庭の雰囲気から早く自由になることであり、そのためには「養所」に入ることが最良の方法ではないかと考えます。貴方は手術後の経過も良好

で、もう暫くの「養生生活」で、仕事に復帰できそうが大切な段階にあるようです。又今後二年間は給料を貰える権利があるのですから、市の向ミツシリ安静一途に返進して休転期限が切れるまでに社会復帰できるような体力を取もとすことを、オ一義の命題とし努力すること、が最も合理的な方法ではないでしょうか。幸い織本病院と連絡のある「養所」のうち一ヶ月位で入所できるのがあるようですから、病院之直ちに斡旋方申し出られたいでしょう。この際いままでもありませんが貴方の病状及び一年先の健康回復の見込等、医師上の問題についてはこの際主治医先生に充分相談の上、所についてOKをとるべきです。

入所され、一年後に社会復帰できるように回復されたら、右の家庭問題は貴方の「肚」一つで解決できる具体策があることを私は確信しています。それは又そのときに改めて御相談にのることにして、今は只「さあ、尼寺えし(レレエクスピア)」ではないが「養所へ一日も早く「逃避」することに努力すべきでしょう。また「養所」に入所してからも「一家族」の方々が貴方の安持を妨げるような言動をなすことがあつたときは、貴方が望むならば、私は「親御さんや、場合によっては勤勞先の上司の方に面会して、貴方の公正な利益を護るために努力を致します」(担当 久納武文)



詩

あがるい娘り

わたしの心は
かなしいのに

ひろい運動場には

白い線がひかれ

あがるい娘たちが

とびはねている

わたしの心は

かなしいのに

娘たちは又な

小つくらと肥えていて

手足の色は

白くあついろは

あわあわしい

栗色をしている

そのまやしな踵などは

ちようど二麻のようだ



☆ 看護婦赤津ゆき子さんが二
月から勤務してあります。別
名マダムバツフライ。休符
の良いえるからに愛宕形が
かんじのする愛もし、
婦さんです。どうも、
く、この地は、
んさん、雑役に勤解由小く
さんが新しく勤務しました
ようしく。

◇ 一月二十七日
オ一回幹事会出席
者 加藤 堀田
久納 福井 小洪
戸根 井上 織本
長尾 神戸 児島
各幹事及田島
各事業計画の責
任者を決定 新路
編果について打合

◇ 二月十七日
オ二回幹事会 出席者
加藤 堀田 久納 福井
小洪 戸根 井上 織本
長尾 神戸 各幹事及田島
古論調査の結果を検討
別項の上おり懇談会の件反
医牙費軽減について決定
☆ 織本院長顧問就任
幹事会を代表して二月十

◇ 三回会長の加藤さんと幹事
の久納さんが院長に顧問に
なつていただくようお願ひ
致しました。この経費は
「出来るだけ会の発展がた
めに協力します」と語り、
顧問就任を快諾されました
◇ 親和会々々員数は三月五
日現在で八十四名になりました
方は至急御申下ささい
「会費は月編三拾円、十円
切手代用でも結構です」

編集後記

前号に対する御意見を
女なさまから頂きましたと
ころ
一我々の広養にフランスにな
る記事が欲しい。
一編集印刷をもっとうま
くやつていただきたい。
一文字的な原稿が欲しい
等々... 多くの批判
をいただきました。

病院月報

2月の活動状況

入院患者数

結核 一級

定員二〇名 十三名

月始二〇名 十二名

月末二〇名 十二名

手術施行数

胸部成形術 二六例

肺切除術 四名

胃切除術 一例

虫様突起切術 三例

本号はそれ等の意見を注
かし、編集部一同、全力を
盡くして編集致しました。

本号に訂する御意見も是非
お寄せ願ひます。

次号には、先行広法特集
を予定しております。

なお、前号の佳作賞とし
て、両側成形の体験記を寄
された、小林強さんには謝
書を贈呈致しました。

昭和27年4月15日
 4月号 NO.8
 東京都中野区新井町549
 織本外科病院 電話5006
 『親見和会』機関紙
 加藤 亀吉 発行
 責任者

新 路

張 今年の一月から 共通の課題として解決して
 前添料金が度つた
 医 保護の患者が
 ら受けてる料金の
 主

二人附二割加俸が女とめら
 れなくなったからである
 その二割添さんかと思者
 その差額を支払ってほしい
 という要求が出された、と
 ころがこれはいれられない
 かつ、附二割は都庁へ行
 つて料金の値上げと二人附
 の加俸と認めたいほしいとい
 う交渉をした、たまたま
 重合せていた附添婦組合協
 議会の人たちの話、あいつ
 で患者に差額支払いを要求
 するのにはまらなくていい
 と、問題は政府から払って
 もういふ金を多くしてもら
 うことだ、そのためには附
 添同志が手立にせりいらく
 患者の組織とも結びあつて

横のつながり

の事も空々わけであり、た
 かに倒産しあつてい
 結核の問題はひとつい
 つかひろいつながりを
 ついて、したがつて患者の
 二つも附添婦の二つも病院
 被差額のことでも、い
 をとりあげても協力の場
 しにはやつておけない
 自治会、親和会につづい
 て附添婦組合と従業員組合
 ができた、この機会に横の
 つながりをいっそう強化す
 ることが、いまもつとも
 必要なことではないだろう
 か (M)

新 料 金 表

一 検 痰塗抹	一六〇円	一三〇円
一 血 液	五〇円	四〇円
一 気 胸	一六〇円	表 定
一 文 書 料	一〇〇円	八〇円

(使標等額合費は会員料金の半額になります)

目 次

新薬について	奥島俊弘	六
患者さんはお人好し	織本正慶	五
生活を破壊するもの	福井長久男	八
回復期の居候心理	杉本重天	七
織本よ、さようなら	細谷弘子	九
培養勤務十ヶ月	宮田泰一	二
日臨診科の記録から	奥島美都子	一〇
歩行体験記		
歩むたのしむ	こむまことひろ	四
百歩から二千米へ	田島文市	四
去行進談合		
重輝、病氣と私	味沢去子	三
お登啓上	小林 強	三
短歌 俳句	馬場たか子	五
丁巳の歌	ホリタタテオ	八

歩いたのしり

記 験 体 験 歩 行



歩くといふことは興味の

あることだ。私がまだ歩行
できないころ、病院の窓か
ら乗師通りをながめてい
ると、男や女が何気なくぞろ
／＼歩いていて、見ている
と、その歩いていること自
体にその人の生活の表情が
あつて面白かつた、自分が
歩き出してゐると、出合う
人達がそれぞ礼用ありげに
せかせか歩いているのに、
私だけ用もなさそうにぞろ
ぞろあるくのがうしろわた
い気がした、私は成形のあ
とのカリエスで九月月絶対
安静をした後だから先生の

こじまんとしり

注意で、普通の人が百米から
やるところを十米からはじめ
た、外は空気がさわやかで光
が明るかつた、門を出てわす
かの距離で引返す私を、よそ
の子供が不審そうに見ていた、
往復で十五分も歩けるよう
になると、電車通りに出てみ
た、けれども二年近く屋内に
とどこもつていた私は、自動
車の往來をうまく橋で礼な
かつた、車のスビトが私の感
覚と合わないので、どの位の
距離にきたら危険なのか見当
がつかぬかわる気持であつた、
このようなたらわらぬ、じ
まに慣れて、私は普通の通行
人と同じような速さで、同じ
ような顔で一回に二十分かり
三十分歩くところまで行つた、
これが四月月目的のことである、

冬のまなかつたこじま
しは雪が降つた、その日
と一週間も道がぬかつた、
駄では歩けない、私は半長
靴を買つて、雪が小つても
ぬが小つても、散歩をわか
さないことにした、もつと
も傘をさすとこじまの重女

百米より二千米へ

田島 文市

手術後六ヶ月は悲しみと
苦しみの連続でした、そし
ていつとも不安が伴います、
これから先どうなるのであ
らうか、一つには経済的に
二つには人並みに歩ける
事が出来るのか、あうか、
このまま身体が苦痛がなく
なつて行くのであうかが、
だんだん後泊の歩行す

や、その抵抗で体力がよけ
い聖るから時鐘をよびがく
した、
いま私の歩行のためしり
は、自分で本屋によつて、
あれこれと新刊の本をのぞ
けることだ、
以前に、読書新聞またよ
りに、又いたのんで買つて
もらつて来たものどかしとが
ら救われたのが何より嬉し
い、(昭和廿五年成形思志)

法に入つた時の嬉しとは、
このような苦しみを、恰も
恋人が訪れて来たように、
吹きとばしてくれます、暗
い私の心には希望と勇氣が
湧いて来ました、
歩行す法を一步は秋深ま
り冬が足音もなく訪れる頃
でした、始む百米を實行し
ました、大徳堂の畑道を目

標で五十五分はかつてこ
れを往復するのです、足
の裏が痛く、すぐ／＼が礼
てしまします、それは、
午前中九時頃十分ぐら
い小がつて行きます、午後
は遅く、しまします以上を
一ヶ月程行きます、次は
二百米、二百米と二ヶ月
ぐらひ続けます、勿論雨
の日や風の強い時は休
みます、

術後一年頃には二千米
を午前と午後に歩けるよ
うになりました、さまた
つかれます、二ヶ月程行
つて作業す法の段階に入
つて行きます、でも午後
二時間の安静に抜かれま
せん、では皆々ご自身
を大切に、



患者さんはお人好し

(副院長) 織本正慶



「どうしても先生に助けて
戴こうと思つて……」等

と云つて診察をうけに来る
人がよくある。私は、それ
に対して「よし、助けてあ
げよう」等というお目出
度い口イズムをもつたこ
とはない。あんまりそんな
事はかり慮くと、かえつて
向の悪い氣持を味わうもの
だ。自分の悪人でもがそん
な事をいつたら多分にドン
ファン的な 氣取を持つたか
も知れないが、対話者の麻
痺はもつと私にとつてきび
しいものだ。

私は○○○子という人を治
そうとさへ思わない。私は
織本正慶

「何もさすつてゐる訳じゃ
ない。骨を切つてゐるんだか
らちつとあ、痛いのは当り
前だ」等とバランメエが
出ることも時にはある。

だが患者さんにはだ
だが手術が終つて「どうも
も同じである。特別な美人
でもない限り、その人の空
洞は寛えているが顔はなが
な可愛らしい。もつと
もフィルムは、ちよつと何
か考え、見たくなつた時に
いくらでも遠慮なく見られ
るが顔はちよつと見たくな
つてもさう簡単に見る訳に
行かないせいもあるかも知
れない、そんな風だから手術
中にはどんな年寄でも奴鳥
元氣になつて生々として

「いえどう致しまして、
いすみませんでした、
祈なんですか少しは痛い
のには仕方ない事ではな
いと、今度は逆にいう、
全く患者さんは人が好く
患者は人が悪い話である、
X X

手大時にもして、この時に
は、愛情でえんする。
白癩診察に「この痛どうで
す」といふて○○の夫とい
う人の体と氣付かえるのは、
この時期である。
面側成形をやつた人が元氣
になつて富士山つようなレ
ントゲン写真をこつて来て
「これはバランスがとれて
いて一側成形よりよつほど
恰好がいいですね」と冗談
を云いながらその人の病を
のぞき込んだら本物の顔よ
り胸の写真の方が大分やさ
しい顔をしていた。

短歌

髪結いで水も切りてと看護婦に大まな子ねこ
笑われおれりき

友が笑ふたのし話れる嬉しさに病移りせし
病とすし

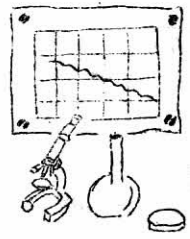
俳句

病及し身す、生けし極く、花見をし

病んでいて、留年に凝しき、日曜日

背の痛を、合身もさ承れる、よ遊所

(作 馬場たか子)



結核の新薬がまたまた

こんどのヒドラジッドがどの程度の特効薬か、日本の医学界でもその評価はかなり控え目のようだ。患者はその実際の効果が現在伝えられていて評価以上のものがあることを希望し、患者は患者が大きすぎる期待をもたないようにはじめられている。

私は患者としてこの新薬の出現を特に大きく評価したい。たとえこの薬が効果においてストレプトマイシンをそれほどのくものまないとしても、なを私はその出現を祝福したい。その理由は私が肺形術をうけてから、私の胸の中に確固と

して位置している一つの考によるのである。

私は外科手術が肺結核治療の主流であるような時代は一日も早く去らねばならぬと思う。

肺外科の急速な進歩は、たしかに結核に対する医学の一つの勝利ではあるが、

まだ本当の勝利ではなく、かなり低い段階の戦果だと思ふ。なぜならば、医学が人間の病気を、人に苦痛をあたえず、体を变形させず、人の社会生活を長く中絶させないで治せる段階においてはじめ、病気に對する医学の本当の勝利と云えるからである。それを目ざしての、たえまない医学の進歩こそ、医学の中に流れるヒュートマニズムのあらわれであらう。

私は患者の結核に對するこのような本當の勝利の日

がかなり近いという直観を動かすことができない。二十年前の抗生物質の発展と化学薬品の発展の状態をみてみると、すでにゴールは近いという感がある。あらゆる發展は、その發展の量がある大きさに達した

新薬について
—私はこう考える—
(3月25日記) 兎島俊弘

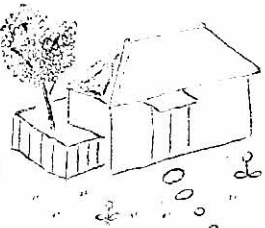
と云ふまで思ひも及ばなかつたような新しい形をとり新たな様相を呈する。量のみならず質的の発展と云ふのである。たとえヒドラジッドまで

を小さくして結核新薬が空洞に對して有効でなくとも、近い将来に薬自体が空洞壁をも浸透するが、あるいは空洞壁を浸透させる補助薬の併用によつて、空洞にも有効な新薬が生れるだろうと思ふ。ヒドラジッドはこの量的な發展に大きな進歩をみせた一つの里程碑である。

ちよほど、プロペラ式で、ほんとうにも音の速さを破れなかつた飛行機が、内燃機の大量の發展ののち、ジェット式という新しい形式が發明されるとは、音速の壁を破ることができたように、空洞の壁を破る新薬が生れるような技術的な土台はようやくそなわつてきたという感じが強い。もつとも、まだ実現しない薬を待つて、現在手術適症の人が手術をしなというの、は正しい態度ではないが、

空洞に有効な薬は、まず当分まできそうにないと考えることも發展的な考えではないと思ふ。しかし、こういう楽しい期待を暗くする一つの影がある。それは、準備拡張に政府の財政資金の大部分が投下され、平和的な研究の研究費や資材が充分でなくなることにある。

また、アメリカの結核新薬の研究はほとんど製薬会社の研究所で行われているために、時によつては資本家的競争がその發展を大いにすすめるであろうが、また時としては資本家的な考慮がその發展をまたげられるかもしれないことである。私はただ、あらゆるさまたげなしに人権を結核から解放する研究の行われることを希望するのである。私はヒドラジッドが空洞に有効でなくとも、またダメかとはい思わない。また一つ進んだらと思つてのである。



新築 無事御帰郷の庄

先般より長い間の御滞在に、ご心配のこころ存じまじ、御苦勞様でございます。望守の忠に仕事もたまりもつくり打寛ぐ暇もなかりました。

改めて、当家へお礼の言葉を述べ、難談に花が咲き、私の身上相談にも及んで、皆重なる御言葉、御助言を賜り大へん感謝しております。今後は私の身上を中心として家人の前では一寸話しくい居候心遣とも云うべきものを、書き綴つてお返しします。

なる必要もないのですが、端的に云うならば、自分の要求に對する主張ばかりでなく、家庭内に於けるすべての發言権が授けられたものになり勝ちです。俗も古も下の一等國アメリカさんと同等屈日本の場合のように、

家族の者は口には、善に良いということば、悪にして、あなたが良いし、と云い、専断外神手術もしてもらったのですが、

が長いくにつれて、いままでも、将来を案じての面も、ありますが経済的方面に於いても厄介根する、と云つた心理作用も全面的に否定すること、出来ないので、私のおあしで、これ、これ、という要求が大みおれば、

あるほど家計費の負担は重くなり、それと云つて最低限の養生(健康)に生活とを合した家計予算に納入して貰はなければ困ります。愛を表現するが、或る意味に於いては利害関係が、

いつて私達家族が現在不知を醸成しているわけは、ありませぬ、しかし不和でな

その多くは家族間相互の自我主張を最小限にとどめ、根本的な争柄に多くの妥協点を具出しての存在状態に

一 簡 書 一
回復期の
居候心理
田舎の叔父へ
(昭和初年成形患者) 杉本 重夫

われないかと思われず、我が家も其の例に洩れず、家人が我儘な病人だと思つてゐるであろう。私のオでも空純な奥について、云いたいこともありすが、頑固な独裁者が居ないといふことは、有難いと思つて

おり、思いがけず親心を示されて嬉しくなるとも、あります。

今に達しているに拘らず、お養育と被扶養者の関係にあり、おそれますので、

叔父様のような理解ある公正な第三者の「身体を第一義的に考えるべきであり、健康な社会人に吾して働くには身体に充分自信をつけ、てからにした方がよい」と御意見は私達当番者双方にとつて得るところがあり、

必ずしも御勧告通りにはいかぬかも知れませんが、大々有難いと存じて居ります。

以上おことは、總えず意識しているわけではな、分析してお礼のこと、なものであるということ、ナ、どうも、ごつ、ごいお便り、だ、なり、恐縮です。この次には何か面白いニュースでもお届けしますよう、

では叔母様はじめお家の皆様によろしくお伝え下さい、右御礼をおわく御報告まで、
御機嫌様 廿三ヨナラ

健康を破壊するもの

(昭和26年成形重者)

福井 長久男



ホカクと陽気な緑の春

が来ると 病人もなるとな
く心がウキウキして来ます
流石に春ですわ、そのネボ
ケ面を張り上げず「アメリ
カで新業発見、ハスの教育
倍効く、近い将来、養所は
空っぽ、医者や看護婦さん
は失業したんだんく原爆的
な春の夢は如何ですか、い
ふれにしても新業はどんど
ん出来るし、外科の進歩は
素晴らしいので、患者は正に
一陽来福でしょう。

この嬉しい春を迎えて近
頃の情勢は油断出来ません
日米母線条約に引続き行政

もバタ、刀方がよげ、今、
に最近の望高産業化を恐れ
ます、これは戦争が強強を
動、自由と誇、労働強に以
外なにも、いからず、飲
ます、喰はずで追いまわさ
れつらく、になり、遂に体
を患くし、かつてのあの
恐しい生計を忘れません、
肺をやりわたる戦争犠牲者
一人として再び悲惨な道は
歩みたくないと思っています
私が十一年前、まじめに
勤めた工場で病氣中に、工
場防衛、保安のためという
理由で追放され、又当病院

保陣する予算は減金、これ
が体もと首にならんと無理した
まわアカンです、大砲より、
既にこくなつていたほど、
全く驚きの餘りありません、
このようにならぬことを
くしたり、病欠を申請した
りする痛切が強くなつていま
す、
病二、三年余、手術後の全回復
を望み、早く働ける日を求め
るに、健康を破壊する望高生
産

入院中、内島が野火渡者中
の消防隊にハネられて死んだ
という話を聞いたたり、丁氏
が体もと首にならんと無理した

わがレントゲンを見れば
肺結核の空泡ありけり
丁氏はさびしかりけり
人生はさびしかりけり
歩行より作業法に入る場
会社より首切り通知来ぬ
会社より首切り通知来ぬ
わが、ついに職を失いけり

歌 T B の歌 (白萩の
刀切より)

(一) ホソタタテオ 作
ドクドクと血を駈き、
行そぼそと治る道なり
おどろきと痛楚がけつけれぬ
さびさびといそぐ道なり

(二) 衛生 青年を過ぎて
とほとほと歩行始めぬ
丁氏はながきものなり
T B とささやきにけり

(三) 歩行より作業法に入る場
会社より首切り通知来ぬ
会社より首切り通知来ぬ
わが、ついに職を失いけり

(四) 丁氏 後職の道は
さびしけれど、いまよまがし
丁氏は泣くの及なる
人生は泣くの及なる

(五) 丁氏に復職の道あらば
丁氏に働く仕事あつば
丁氏は泣くからん
人生は泣くからん



織本よ、さようなら

細谷弘子



居心地の良い織本にいつ

までも居り度いのは我儘、ベッドの空くのを井上病院で待ちながら、シユープを起して亡くなった友もある。空洞をかかえて千秋の思いで待つている多くの友のために、一日も早くベッドをゆするのが病人のワークアウトだと思ふ。

織本へ入院したのは、窓の銀杏が青々として、そよそよ涼風の吹き初めた頃。未だ手術は無理と言われ、暫く化学療法と、安静を続けられているうち、銀杏は黄ば

みやがてハラ／＼落葉し初めて、風もなく、一葉も残らず散りつくして、年の瀬には白いものをかぶつて小るえていた、それも束の間今はもう芽生えの度度を初める頃となった、その間に私も無事三次の戒形を終えて又一つ年を重ねた、懐しい教々の思い出、ここへ入院して先づ感じたのは、ナースさんの美人揃いだつた事と、民主的で明るい雰囲気だつた事、肺摘才一号の経過が良好だと云つて病院中で喜んだ、それに自信を得られた先生が緩々と肺摘に手をつけられるようになり、成形はもう時代後れの錯覚をおこす程だつた、秋の夜長の頃、

一日の仕事を終えた先生方と事務の方、ナースさん方が、レコードに合せて楽しそうにダンスをとっているのをみて、病気の憂ウツを忘れたのもしば／＼だつた、院長が十八番の猿で、六羽の復物をかりやけて啼りれた時患者一同に御馳走して下さつた鴨料理の美味しかつた事、二週二回、五六人づつも手術をされる先生の鮮やかな手並は知る人ぞ知る、その先生の手腕と、手術前後の処置の完璧さとに、手術に対する不安を一掃して、絶対の信頼をよせる心になつて行つた、クリスマスにはお部屋を飾りつけて、ダンスに打興じていられた先生とナースさん

さん方の微笑まじまじ、又雪降りの日、雪掛けの土がへい／＼ぶつかるので窓ガラスでもこわされてはと、どならうとしてみれば、若先生を先頭に男性輩と、婦長さん先頭に女性輩が、今や雪合戦の最中だつたので当然とした事もあった、母静が足りないと言つて時々叱られた事もある、一月十五日の病院記念日に親和会が結成されたが、その夜は賑やかな催しがあつた、ドジョーすくいや八木節がとび出すかと思えば、事務長の奮一、若先生のお宮で金色夜叉の劇あり、院長の粹な爪弾き、マカナイのおちさんが踊り出す始末、先生方もナースさん方もなかなかの芸達者、患者も附加いも腹をかかえ、当分はその話を持ち切りだつた、兎島さんに美しいソプラノ

で讃美歌を歌つて戴いたあの夕の感激、平野君の元気の独唱も楽しかつた、半年の住院中、肺の手術で亡くなった人は一人もいない、小さいけれども秀れた肺外科織本よ、民主的で明るい雰囲気も永久に失はす、常に患者に感謝される病院であつてほしいと祈つてやまない、

楽しかつた思い出を感謝しつつ、私は明日に迫つた退院を名残惜しくも心静かに待つている、

織本よ、さようなら、

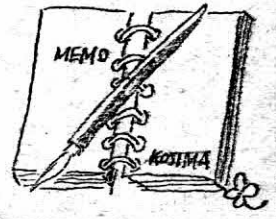
宮本刃心博士

より

「貴会の御発展

を祈ります」

との激励文が、寄せられました。



×月×日

人違いではないかしらと思つて「Aさんですわね」と念をおす。矢張り人さがいではない。カルテにもう一度回をとおす。

二十五才

その人は年にしてはあまりに小けてみえた。土色の頬。つやの悪い髪の色が二十代の青春の若さをまるで感じさせない。レントゲン写真で見ると右上葉、肺門部近くに鶏卵大の空洞がある。巨大空洞である。「手術をしましょう。実具が古いからもう一枚とつて」と先生に云われ、とつた写真を濡れたままシヤウカス

テンにかける小さい浸潤が右にも反対側の左肺にもいちめんひろがっている。ここのうのを撒布性結核といふのだそうである。

「だから巨大空洞は恐い」とつぶやくように先生が云う。たつた二ヶ月の間にこんなにはひろがっていると素人目にも分る位である。これでは手術は到底のぞめな

らしく若い奥さんが赤ちやんを背負つて附添つて来ていたのだから………

「登病は何時だか分らない。二ヶ月ほど前に風邪をひいてから熱がひかないので、レントゲンをとつてみて始めて結核だと云われ、その時すでに大きな空洞ができていたが自覚症は全くなかつた。手術をすすめて

だといふのである。保健所の言葉は本當だつた。一保健者をひきつけられ、一保健者をひきつけられないという理屈は分らない。これはない。自費患者だ。その場で収入に足るが医療だと二ヶ月位たつてからでないと支払つてもうえないことにストライクのような高い薬を使う場合に患者が一時五割を支拂はけなうな

日旺診療の記録から

(医専係) 児島美都子

い。しかしまだ振がつてから日が浅いからあるいは吸収されるかもしれないといふのでマイシンの施行を決定する。「巨大空洞の死亡率は三年以内で八〇%と何時小本で読んだことが、小と頼に来てハツとしてしまふ。また結婚後風も無い

これで今日までの二ヶ月の間あつたここの病院へ交渉したが入院をひきうけてくれるところがなくて退院自身病院さがししているうちにシユーブを起したらしい。荒川区の保健所の添書によると医師保護で引きとつてくれるような病院が、

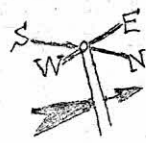
くれた。紹介で、紹介で来た。病院にゆくと別な患者にいつて下さいと云われ、その患者を紹介された。そこへ行く。一日に朝と晩二度も往診に行くのは他の患者に具合が悪いがうとまた新られた。どこの病院も患者も医師保護の患者は認めん

だといふのである。保健所の言葉は本當だつた。一保健者をひきつけられ、一保健者をひきつけられないという理屈は分らない。これはない。自費患者だ。その場で収入に足るが医療だと二ヶ月位たつてからでないと支払つてもうえないことにストライクのような高い薬を使う場合に患者が一時五割を支拂はけなうな



X月X日

昨日の日



肺は病気で
出勤できな
かった。

「とくもた
しくて入院申込が八人もあ
つたのよ」と云われ、申込
書に目をとおすとAさんの
名前がみえる。

「あれから五ヶ月、やつと
さびしあつた何軒目かの医
者で二のグラムのマイシン
を打ち終つて自分で安静を
つけた。そのマイシンが
思いのほがよく効いて空洞
の反対側の浸潤がすっかり
吸収されたそうである。

「これとやつと手術ができ
る」と云われて以前とは、
見方がえらうほど体重も小
さいもよくなつたAさんは
兵んで帰つたそうである。
入院予定をくみながら私は
Aさんの病を思いつかべて

疲しかつた。やつと手術が
できる。この人も生り系列
に如かることが出来るのだ。
だが考へてみるとAさん
は特に幸運であつた。この
場合マイシンの効果はこれ
ほどになつたら、五ヶ月
の安静がこれほどの効果が
なかつたら手術をするとい
ふまじけぬがなかつたのだ
う。病人自身が病院にがし
をしたり、マイシンを打つ
てくれる医者が容易にみつ
からないといふよつたこと
でもAさんは特別幸運だつ
たから病気をそれほど悪化
させないですんだ。

しかし、だれでもがAさ
んのように幸運になるため
には、患者が自分で病院に
がしをしたりしなくてはな
りません。それならAさん
の如く思ふ。

なにして去年の夏、結核
に行つて暑さにボーツとし
ながら詰め込んだ技術が故
たいした事は言けません。
皆さんが試験管に入れた
持つて来た痰は苛性ソーダ
の溶液を加へ粘性を無くす
ると同時に痰中の細菌を殺
します。そして

培地に流し結果
を見るというわ
けです。さてそ
の培地ですが、
早く云えばまし
たまごでそれ
菌の発育を良く
する為にはグリセ
リンを、細菌の発育を遅
之又、丁B菌との判別に色
素を、その他二の薬品を
入れたもので、丁B菌は余
程の食通らしく、出来が
固くてもやわらかくも生
えが速く又、味の素の入つ
ている培地もある位です。

裕勤養培

「十月」

(校係) 宮田泰一

二週間を過ぎるとそろそろ
小さな菌の塊がボーツと
出来、又一週間もたつと
はつきり粟粒のようなコロ
ニーになり、このコロニー
の数でその菌量を表します。
しかし一番菌の数は容易
に名前がなく培養できない
で、後で
結果を調
きに柔ら
れる時
早く連絡
出来れば
良いので
すが、必
前がない
のではお知らせしようが
りません。培養について面
白いのは「マ」と云われる
と「前には何だつたのに今
度は「マ」ですか？」なんて
がっかりする人、(竹)になる
と次回には唾のような痰を
持つて来る人、培養には、

「これを読んでの方は今後は
量より質でせいぜい良い痰
を必ず氏名をつけてお持ち
下さい。」

集 募 稿 原

生活記述、短篇小説、コント、詩、短歌、
俳句、往復書簡等。(毎月末締切です)
みんなの力で、よりよい機関誌にしましょう



評書



ベティ・マクドナルド著

病氣と私

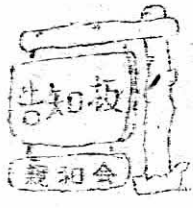
味沢 宏子

「面白い」と云う評判だつたし同病者のサナトリウム生活を描いたと云う莫大の興味をもつて読友始めましたが果して面白い本でした。作者、ベティ・マクドナルドはユトモアに満ちた明確な筆觸で病室の人々を辛酸に描き出し、読者も思わず誘はれ、笑い出してしまいます。私達患者として痛感したことはここに現れているサナトリウムの完全さに対する羨望。それに比較してお話しにならぬ程

會得て不潔な日本のサナトリウムに對する羨望です。そこに傍く看護婦さんの患者に對する威厳とは又、お話しにならず、つめたい眼、御影石の視線をいつも患者に注ぎつけて行動をとる。患者はものを讀んでけらぬ。患者は字を書いてけらぬ。患者は喉をばらぬ。患者は笑うけらぬ。患者は手を伸してけらぬ。患者はくつうがなぐてけらぬ。患者は……等々もの

人院當時は読書け勿論のこと、手紙を書くこともおしゃべりさえも禁じられていた。徹底した安静療法に、患者も思も次第に良くなり、行く過程で眼があたり、及び今更安静の重要性を思い知らされたが、何もかも設備がととのい、患者自身も幼うがなぐとも用争がたがる。そうした環境のもとにあつての静養で、耐添刑題や病食問題、やてを待つゆがしを得ない私達の現状ではその嚴格さ、け遠い夢に思きぬいようの哀がします。

三月十六日才三次幹事會に、左の議題を討議決定
 一定期懇談會開催の件
 懇談會当日は、必ず診察も行うことが決まりました。
 一、新築、配布方法の件
 入院患者には、自治會費が継続誌代を徴収することになりました。
 一、今島知如致(四月十日)入會者ニヨ名 計 一〇九名
 一、昨年三月節制成形よりけた江沢英夫さんが今年の三月から平日勤務を始めました。



うなサナトリウムを現在作つてほしいと願うより、今の日本の現状にあるを養所を、もう、これ以上何も

の外の障がいによつて押し下げられぬように皆さんと共に願う次第です。
 (氣胸患者)

上沢達夫さんはその病悪陽性のため、この三月肺摘まうけ延邊嶼嶼です。
 一、懇談會開催委員長是事務長、幹事神戸婦長御國人の活路を設けてこのたび本會より、お枝の粗品を贈呈致しました。

編集後記
 多くの會員から三月号は少し良くなったという嬉しい感想を聞き、張り切つて四月号を編集致しました。またまた、欠陥の多い機関紙ですが、會員さんの方で、一、養生生活に役立つ、丁々れたものにしてゆきたいと思ひます。
 (堀 田 記)